

令和元年六月一日発行（毎月一回一日）
書象 第六十七卷 第六号 通巻七六二号

書 系



私たちが「日本の書道文化の
ゴネス・国際文化遺産登録」を
応援しています。



日本書道芸術協会

2019-
6

卷頭言

熱氣溢れる合宿鍊成会

副理事長 中村巍山

米国大リーグのイチロー選手が三月の日本での開幕戦に出場して、引退を表明されました。安打製造機、野球界の魔術師等と例えられ誰もが天才打者と称えています。彼は試合開始二時間前には準備万端で待機、試合後は道具を磨く努力の人です。

この姿から上條先生が生前にお話をされたことが、走馬燈のように浮かび背中を押されるような気がします。揮毫される姿は、いとも簡単でサラサラと神の手かと思われるほど一瞬に作品ができるのです。我々凡人は、その手をお借りできないものかと心底思ったものです。

常々先生は「良いお手本をじっくり汲みとり、時間を見つけて古典を一枚でも多く練習することが上達の道だよ。とにかく書かなきゃ駄目、その繰り返しがあって初めて作品らしきものが出来る。」寸暇を利用して書く努力の大切さ、必要性を示されていました。

書道学習の方法の一つとして、鍊成会があります。書象会では、年間計画に合宿が組み込まれています。今年は久しぶりに福島の磐梯熱海温泉の広い会場を用意して、会員の皆様の参加を募っています。この機会に全国各地から参加されて、目標を同じくする仲間として、環境を変えて学ぶことは書を志す上でとても有意義なものです。

合宿では、各部門に分かれて練習します。各々の目的に沿った部門で専任の指導者により懇切丁寧な指導、アドバイスが受けられ、日頃の疑問点や困った事などの相談にも一緒に考えて、より良い方向性を示してくれます。初心者の方も安心して参加できます。

教わり教えあいながら刺激を受け、書き疲れた時は豊かな湯量の温泉に浸かって銳気を養い、書道三昧を楽しめます。二泊三日の合宿で、会員の皆様と懇親を深め、より良い学習、作品作りに精を出しましょう。早めに友人知人を誘いあって計画を進めて欲しいものです。

虎井暁鐘先生のご逝去を悼む

虎井暁鐘先生は四月十五日肺炎によりご逝去されました。三月末には書象展作品を立派に仕上げられて、実によい笑顔でした。それが半月後には、突然のお別れとなりました。残念です。悲しいことです。虎井先生は書道界で広く活躍され、わが書象会でも副理事長、信州書象会理事長、若竹会主宰として、多くの会員をご指導下さいました。信山書法の探求に専心され、良き範を示して下さいました。ありがとうございました。深く感謝申し上げ、ご冥福を祈ります。合掌

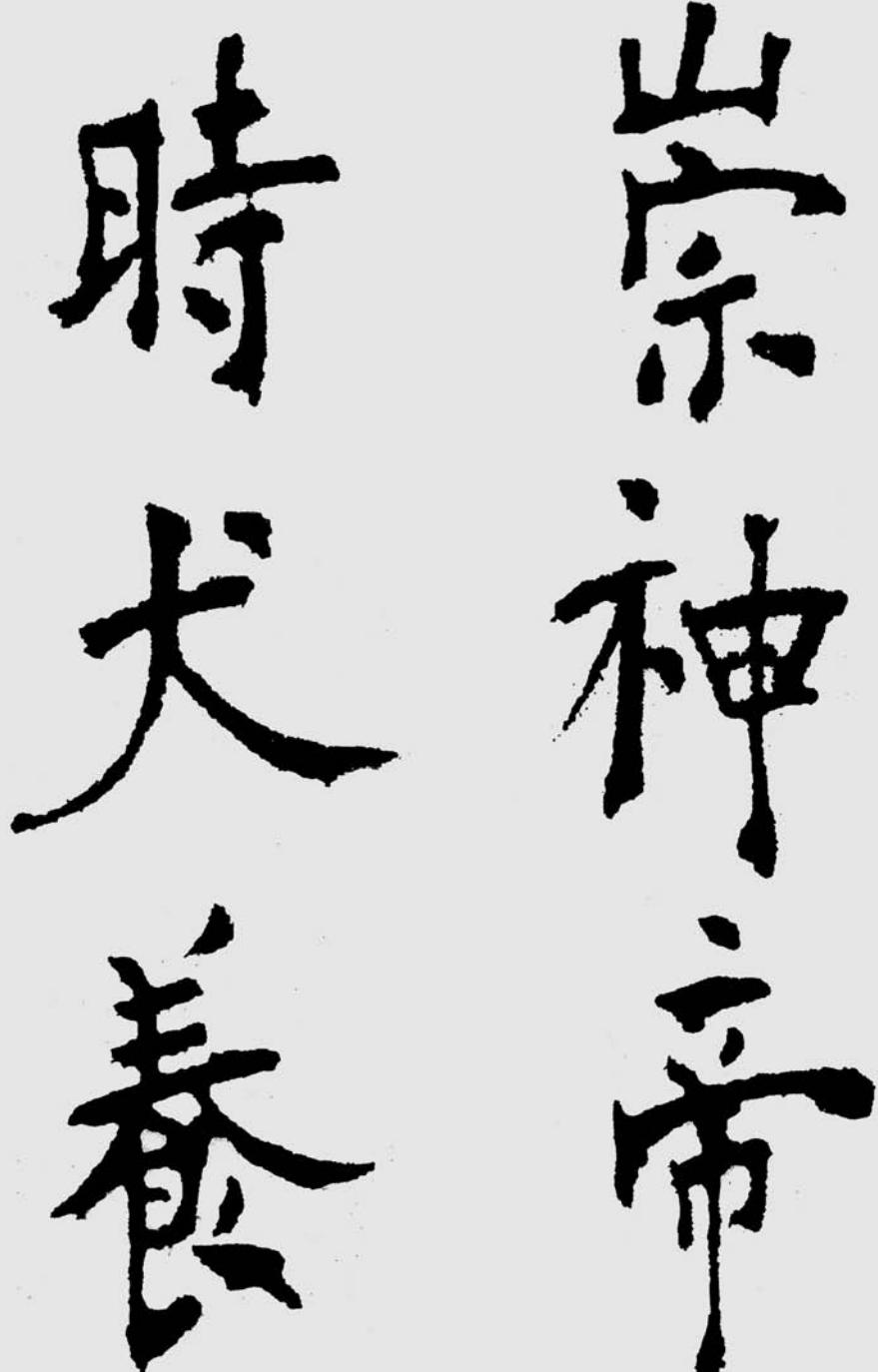
書象会理事長 市澤静山



1968年 上條信山先生書 戴叔倫「三閭廟」詩

基
本【基本】

宮島詠士先生書



崇神帝時犬養

6月20日必着。入選作のみ発表します。出品券を貼付

眼界なく、乃至（意識界）なく



6月20日必着
出品券を貼付

界：「界」の下部の空
間も大切に。

① 無 ← ニ
② 無 ← ニ

六字目

① 界 ← ニ
② 界 ← ニ

二字目

無：一字目と最後の
「無」では筆順が
異なります。
「界」は筆を立てて腕を大きく動かすつもりでゆったり
と運筆したい。

・筆脈を意識して、大きく運筆することを中心とする。

不：最終画の位置を下げてバランスをとる。



淨：縦長を意識し、中央の空間を広くする。



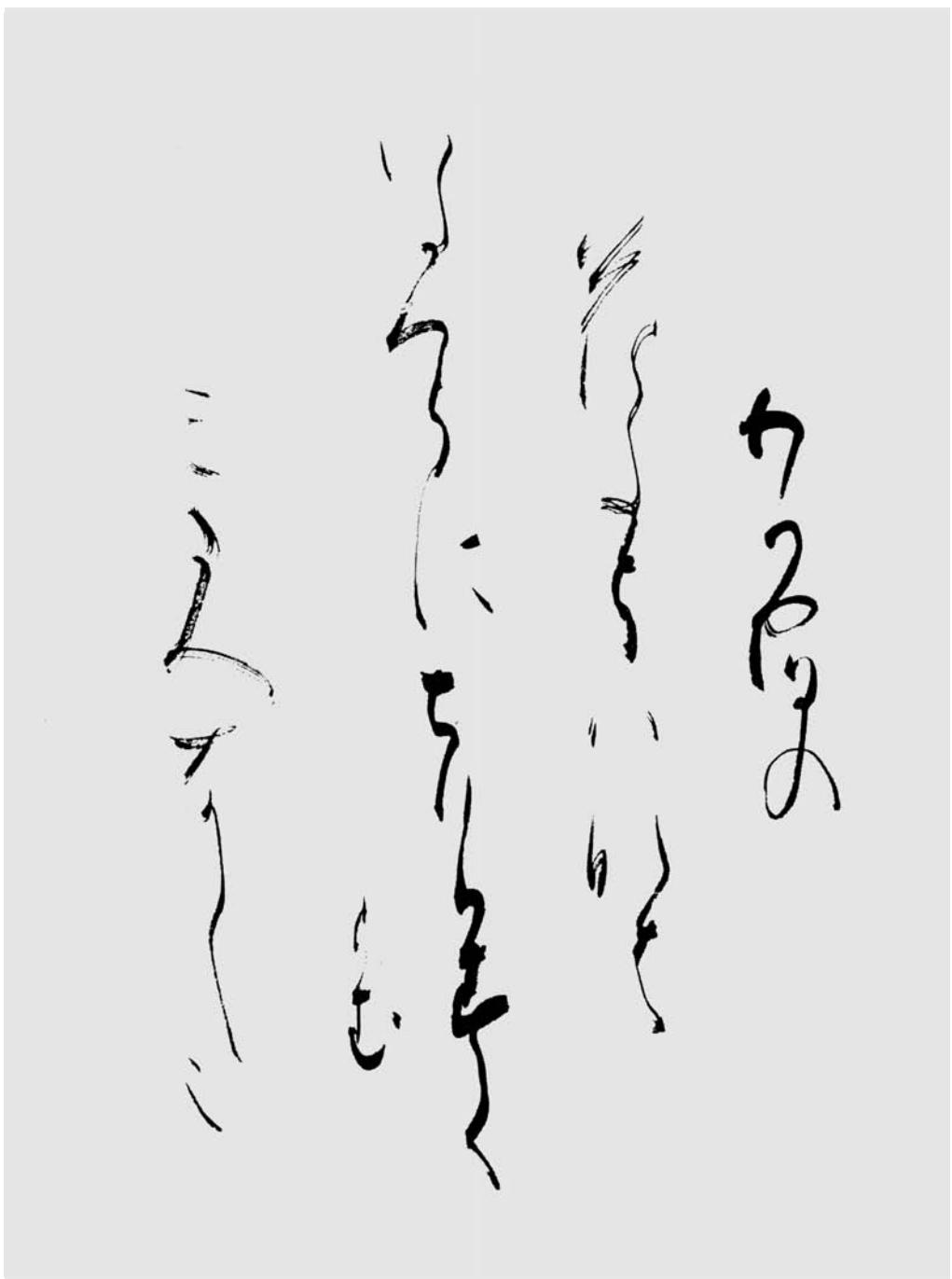
不
淨

不

淨

仮名規定【仮規】（師範・準師範・段位）

上條信山先生書



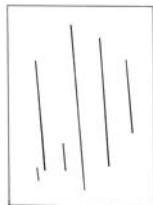
わが(可)宿の花た(多)ちば(八)な(那)は(者)いた(多)づらに
ちりか(可)す(春)ぐらむみ(三)る人なしに(二)(万葉集)

6月20日必着
出品券を貼付

「ちりか(可)す(春)」

「花た(多)ち」

「わが(可)宿の」



・全体構成
各行右下へ流れる。
墨色の変化や行頭、
行末の位置に気を配
り、力むことのない
爽やかな連綿を心が
ける。
・最終行は軽快に。

仮名規定【仮規】（級位）

上條信山先生書

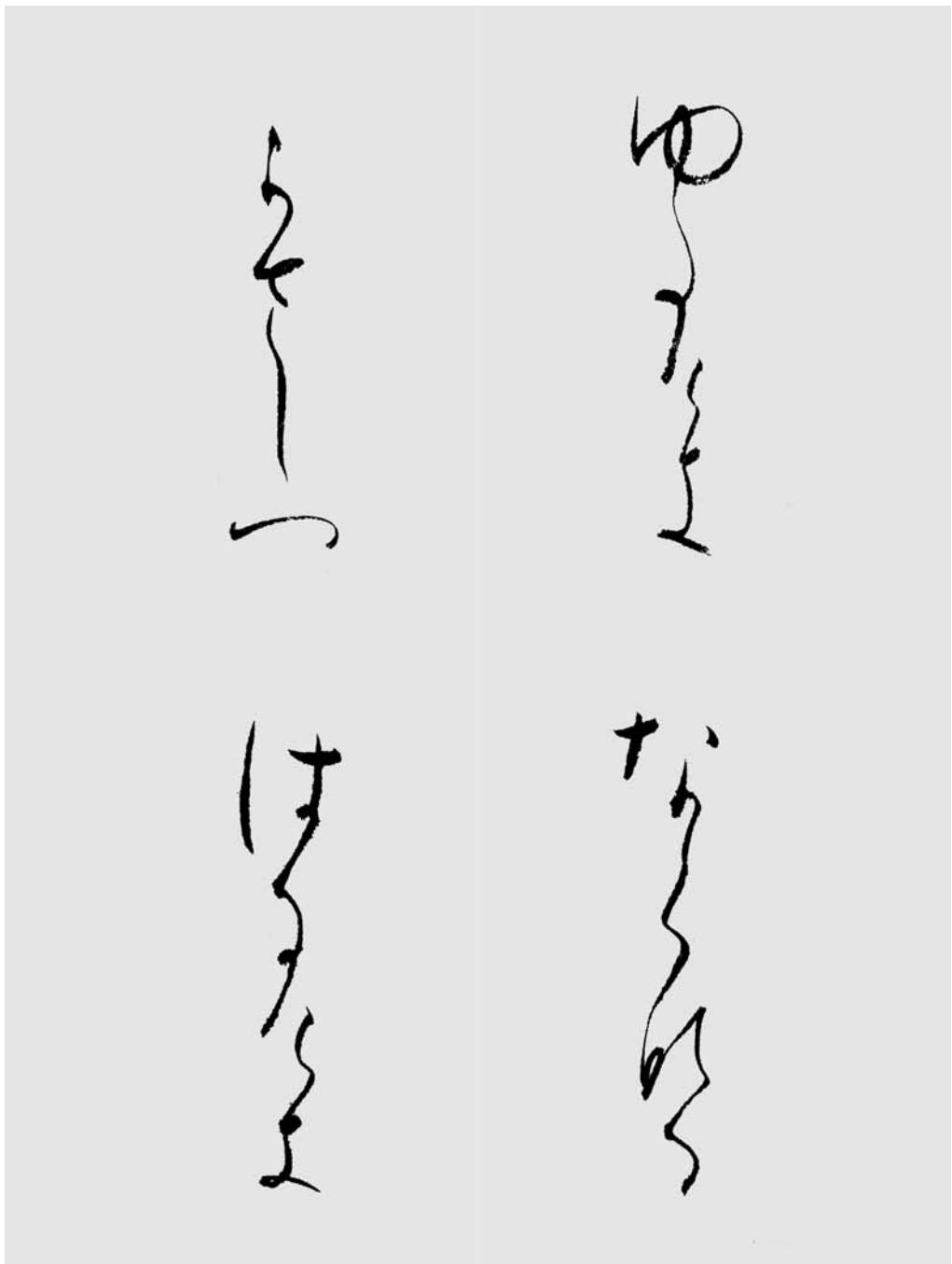
・四字の連綿ですが、
単体での文字の形を
しっかりと意識する。

・リズムを整えて一氣
に書くことも大切で
す。初めのうちは文
字の途中で一息つい
てから書くようにな
ってもよい。

「ゆた（多）け（介）
き（支）」

「な（那）る」

「か（可）さしつ」



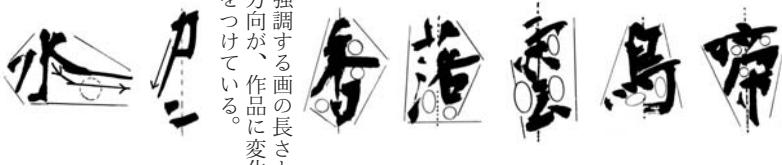
ゆた（多）け（介）き（支） な（那）
か（可）さしつ はるけ（介） き（支） る



6月20日必着

出品券を貼付

入選作のみ発表します



強調する画の長さと
方向が、作品に変化
をつけている。

筆をしっかりと立てて
伸びやかに運筆した
い。文字数の少ない行は、
字間を十分とする。
中心を貫通させる。
空間を意識して文字
構造にゆとりをつく
る。

沙白鳥飛廻

節山

印

沙白くして鳥飛び廻る

- ・沙…さんざいをどっしりと
- ・白…小さめに
- ・鳥…四つの点をしっかりと打つ
- ・飛…左払いと右払いを対称的に太く引く
- ・廻…回の中の余白を明るく

条幅隨意【条隨】

内藤望山先生書

入選作のみ発表します

出品券を貼付

源遐緬叡鄴崇深識照天璣沖光永清玉
生山

源遐緬叡鄴崇深識照天璣沖光永清玉
生山

源遐緬叡鄴崇深。識照天璣。沖光（□□）。永清玉（賈思伯碑）

・張猛龍碑と同一筆者とも言われており、損傷が多いものの、北魏書法の典型を示す。

・「璣」「叡」はP.14参照。

事公業共

中学一年規定【学毛】

柳澤玄嶽先生書

器用先

中学二・三年規定【学毛】

市澤靜山先生書

水雨土火

小学五年规定【学毛】

石丸曉風先生書

通電單行

小学六年规定【学毛】

高瀬霞山先生書

かくそ

小学三年規定【学毛】

寺尾碩雲先生書

合理化

小学四年規定【学毛】

久保妍山先生書

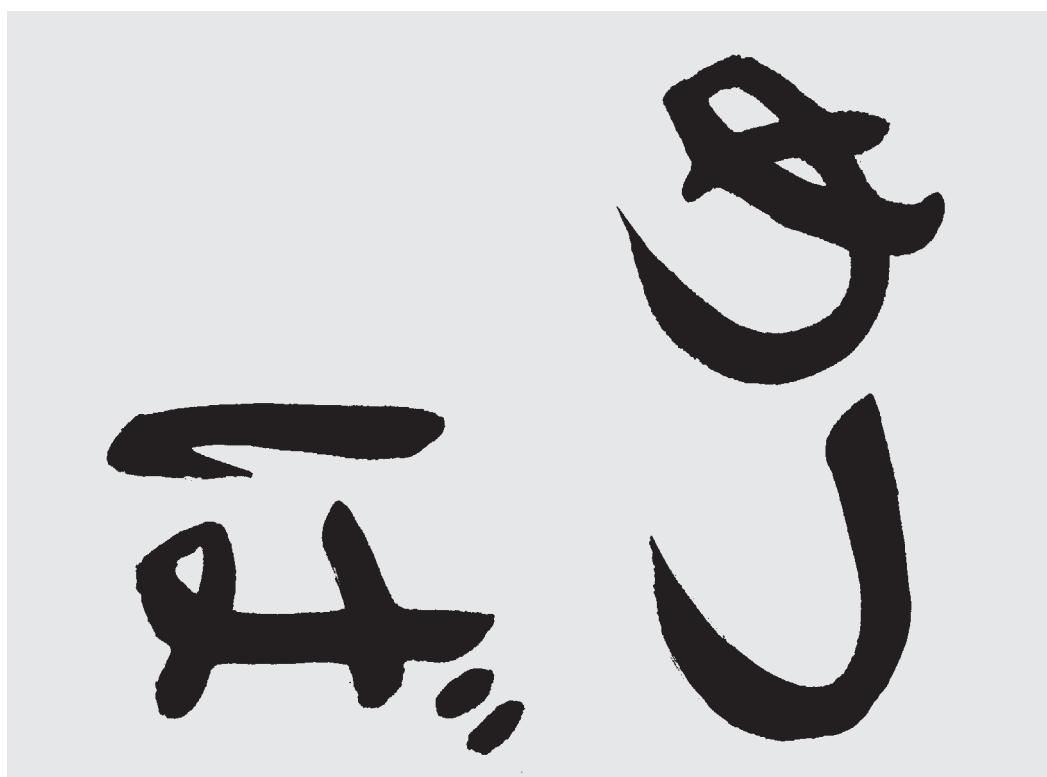
小学一年規定 【学毛】

大島岐山先生書



小学二年規定 【学毛】

小淵石峯先生書



硬筆規定

書の構造に於ける（介）る点や線や面の（能）あり方は（八）書として重大な決め手となるものである。（那）るるものである。

一般規定【二硬】（師範・準師範・段位）

上條信山先生書

書の構造に於ける（介）る点や線や面の（能）あり方は（八）

面をより一層、書くことで重大な決

め手となりるのである。

一般規定【二硬】（級位）

二瓶嶽風先生書

毎年六月、三鷹の禪林寺で太寧

治を偲んで、多くのファンが訪れ、桜

桃源が催される。

中学規定【学硬】

樋口玄山先生書

夏の訪れを告げるホトトギス。

漢字では、時鳥、不如帰、子規

などが当てられる。



中学二・三年

小 一・二 年 学	元
五 小 六 年 学	安定
中 学	決意
三 四 年 学	号

手本解説

・基本 「崇」「神」「帝」「養」は左図参照。

山崇神帝養

・硬筆一般規定（師範・準師範・段位）「点」「線」「重」は左図参照。

点

線

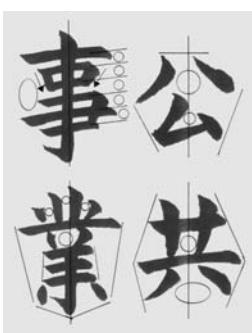
重

・条幅随意「璣」は異体字の為、左払い（点線）は省略。「収」は左図参照。

璣

收

学生部規定



中学一年

左の字句を半紙に書いてください。
小・中学生随意課題【学隨】

表現自由。入選作のみ発表します。
出品券を貼付して下さい。

行書では筆脈を意識し、運筆に緩急をつけてリズムよく書くことを意掛ける。墨継ぎも一文字につき一回を目安にする。始筆は楷書よりも軽く入り、終筆は押しつけすぎないようにする。

「公」の二画目の止めは許容。「共」の横画は等間隔につくり、六画目を最大幅に。『業』は横画の方向と長さを意識する。「業」は横画の書き方は許容。

形の整った美しい文字を書くためには、反復練習を続けることです。

小学三·四年規定【學硬】

波の力を利用して、電気を起こす研究が、進められています。

小学一・二年規定【学硬】

き	の	こ
ま	花	と
し	が	し
た	き	も
.	れ	ア
なまえ	い	ジ
支部	に	サ
年	さ	イ
きだ ゅう		

※出品券を貼付
して下さい。

一般（師範・準師範・段位）・一般（級位）・中学生はペン使用のこと（中学生は鉛筆も可）。小学生は鉛筆使用のこと。作品の大きさたて18cmごこ7cm小一・二課題→2.1cmのマス目紙を使用する。小三・四・五・六課題→2.1cm巾の罫線を引く。



小学二年

「つ」は終筆の方向を意識し伸びやかに書く。「ば」の三画目は、結びの形に注意する。「め」は一・二画目の方向・空間をよく見て大きく腕を運ぶ。



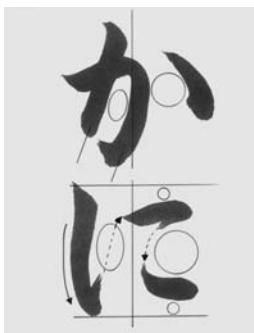
小学四年

「助」の五画目は右上に払い終筆を出す。「け」は一・二画目の筆脈を意識し、「合」は左右の払いを均等に書き、バランスを保つ。「う」は点の位置に注意し、縦長の字形にする。



小学六年

「電」の横画は全て右上がりにし最後の曲がりで支える。「車」の左右の縦画は内側に向ける。「通」の角部分は中心より右側に。「り」は左右にふくらみを持たせ、縦長につくる。



小学一年

「か」は一画目の曲がりが中心に来るとうにする。「に」は一・二画目の筆脈を意識し、それぞれの画との空間を広くすることに気をつける。



小学三年

「糸」の斜めの画は平行に書く。「で」は折れから終筆までの筆運びをスムーズに。「ん」の書き出しは角度に注意し、下部を揃える。「わ」は二画目を書く位置に注意し、空間を広ぐとする。



小学五年

若 ヲ 答。

嘆 ロ + 半 番。

虛 一二ノハ 帝 霊。

誕 旁は らら + 人。

齊 ヲヤガガ 言 震 震 + 一 F F。

彭 丕 + 𠂔。

殤 偏は ヲリ。

- ①文字数を間違えないで出品して下さい。

- ②続き文字でなくとも構いません。

- ③落款を入れて下さい。

- ④作品の表左下に、支部名と氏名又は号を鉛筆で記入して下さい。

古典研究の出品券を貼付して下さい。

細字(十五字以上)

今月のテーマ

蘭亭叙 晋(三五三年)
王羲之(三〇七~三六五年)

若合一契未嘗不臨文嗟悼不能喻之於懷固知一死生為虛誕齊彭殤為妄作後之視今

〔艶文〕若レ合二契。未嘗不臨レ文嗟悼。不能レ喻ニ之於懷。固知ニ死ニ生ニ為ニ虚誕。齊ニ彭殤ニ為ニ妄作。後之視レ今。

松本市美術館便り

上條信山記念展示室 令和元年五月二十八日(火)～九月二十九日(日)

作品たちの晴れ舞台①

松本市美術館は、2002年4月にオープンし、17年が経ちました。その間、記念展示室ではさまざまなテーマで年3回程度の展示替えを行い、その数は約50回を数えます。代表作であればご覧いただく機会も多くなりますが、その陰で展示される回数が少なかつた作品もあります。展覧会出品歴のない作品、若書きの作品、形状により頻繁に展示することが難しい作品など。

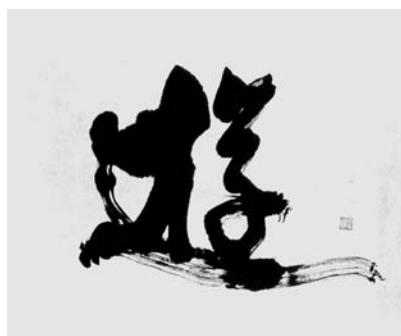
今回、これまで日の目を見る機会が限られていた作品にスポットを当て、シリーズでご紹介します。肩肘張らない率意の作であったり、書風を確立する前の過渡期の書きぶりであったりと、時々に生まれた作品たちの晴れ舞台をご覧ください。

上條信山記念展示室

No.	作品名	制作年	寸法(cm)	主要展覧会
1	心 花		34.5×68.1	
2	剛 穀		34.7×67.7	
3	高 風		34.4×65.4	
4	不 易		34.4×67.5	
5	晚 成		34.4×68.0	
6	壯 心		34.6×68.0	
7	遊		68.8×82.2	
8	守 拙		67.6×69.4	
9	源 泉	昭和59年 (1984)	70.0×141.3	
10	水 滴 穿 石		68.4×68.4	
11	知 命		67.8×69.2	
12	花		67.4×69.8	
13	無 縫		69.5×136.7	
14	不 忘 敬		157.3×71.3	
15	忘 形	平成2年 (1990)	69.0×136.5	第29回書象展
16	清 風		68.3×68.3	
17	南洲翁七律詩	昭和14年 (1939)	各133.0×33.8	
18	天 下 帰 心	昭和55年 (1980)	246.0×67.5	ヴェニス展
19	良 寛 の う た		136.2×34.2	
20	李白詩「望天門山」		79.5×19.3	



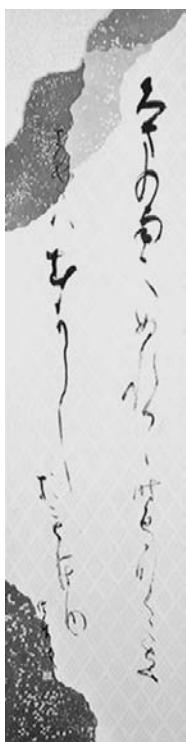
李白詩「望天門山」



遊



無縫



良 寛 の う た

第八十一回 謙慎書道会展（受賞作品）

梅花賞

中内真意

【授賞理由】

北魏の楷書を基盤として自己作風確立のため、練磨を積み重ねてきた。逆筆中鋒用筆で強韌な線の中に深みを加え、筆力のある直線的な表現が生きている。豊かな墨量、鮮やかな墨色は見る者の心に響く。



坂牛 静心



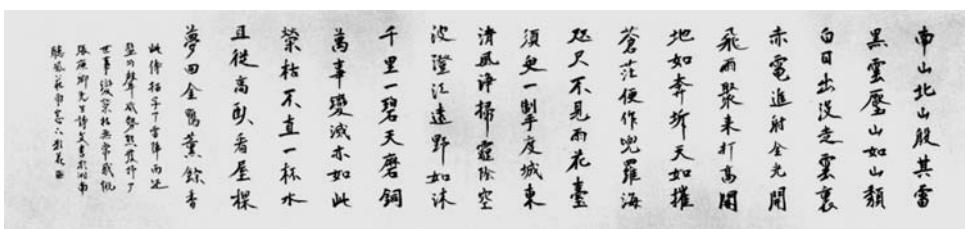
仲島秀峰

春興賞



春興賞

東部復興大傷骨體碑文加筆海鮮之狀動轉林側山崖有意彷彿猿狽石印
茅舍空巢並三軍並路者五瓶影落難流毛階剪角促進空雲山崩并沒迎
紅塵華船不得不得得得工事多將日麻五個張恐是而乘莫當其座兒談一歲安
棄非汝能周防見人係津若哀諱未主經莫無品名天寒未盡假應為碑口暮夕收
鳥呼瘞修家且養耕經忘死試明年春草長多於雅詩唐布宣之秀序一則



都所影花

春興賞

春興賞

蕪木珠紅

白鳥黃金雀
雲砂燒
夢思那堪愁苦節
遙憶邊城鬼

珠紅

特選謙慎賞

新井雄峰

魯郡丞白法相功曹史孔暉祖督魯兵新陽主
薄太元始督汝陽兵二縣令魯縣令杜僧燭汝
陽縣令明景欣鄖韓咸陽平衛安族
雄峰

春興賞

宮寺瑤光

是明池水漢時功武帝旌旗在眼中纖
女機絲虛夜月石鯨鱗甲動秋風設漂
狐裘沈雲黑露冷逼房墻紅周寒
極天唯鳥道江闊滿地一漁翁

瑤光

峴首風湍急に
雲帆鳥の飛ぶが
若一軒に憑りて試し
に一同才張爾未帰
を歎するやと重ね

特選謙慎賞 宇野壺裕

特選謙慎賞

石井薔峰

特選謙慎賞

久保田珠悠

五里聞瀑聲東若車千兩輶迴見飛梁穿若虹百丈衆流會
三峽門扼其吭建瓴沸驚湍排空削層嶂石激水斯怒水橫
石逾壯木石終古爭怪奇紛萬狀日斜金井潭飛沫出橋上日
光散清紅雨絲亂飄颻絕景遇西蘇何人雄高唱蒼峰

特選謙慎賞

伊藤恵佳

特選謙慎賞

徐諭曰興語則可曉目解氣安舒如語子茅然自古大臣
薨于非命者何限未見徒容若公者也公高祖訥齋先生
徒若林強齋受崎門之學五世相傳至公！自少尚風節
剛堅不屈事涉大義名分意氣慨然

乙亥之春
惠佳

特選謙慎賞

木内理映

特選謙慎賞

陌上花間蝴蝶飛江山獨是昔人收遺
民參戎塞：名追女長征猿歸

遊九仙山聞空中鬼歌陌上花詩卷三更越王城無聲藝安歸
歌曰陌上花開可謂之歸矣吳人用其聲而歌客起其聲聽之淒然而感詞亦
多悲音

特選謙慎賞

北村暎光

不釋南州射島堂有失親後臺重垂絳色里難給人海
隋王以南花明玉嶺春北鄉多寶玉俱勿厭清貧雖步
趨升陞今曹恨攀緣曉隨天任入善慈御香歸一夕髮悲
在落青雲裏鳥飛聖朝無嗣至自覺諫吏辭張光

特選謙慎賞

山口芳節

萬山落飛瀑競向清溪會濂洄穿松杉葱蒨紛映帶積
石疎劍鋒百里無靜瀨箇師慣歌晴陰絕了不礙攢霄排巖
密幽異此中最轉惜嶮崿中蒼黃出煙靄漁火半明滅海月
上山背家鄉還別人已隔青峯外江洪度倚芳舟

秋風蕭瑟悲天氣涼草
木搖落露沾霜

久世

不知香積寺數里入雲峰古木無人迹
深山何處鐘泉聲咽危石日色淡青松
薄暮空潭曲安禪制毒龍

天履
久世

鈴木杏静

春江手に人毛と欲し而勢未りて已らず小屋漁舟のいとし濛たり
小雲の裏空危寒菜を煮破壺涅葦を燒く那を知らん是れ
寒食ならず但が見立鳥の紙を衝むと君門深くこと九重墳墓万里
に在り世を嘗め窮るに哭せんと擬す死灰吹けとし起たず杏静

特選謙慎賞

熊坂吳碩

特選謙慎賞

久保田珠悠

第58回書象展 会期中行事日程表

6月13日（木）午後2時	開展 ギャラリートーク 樋口玄山先生
6月15日（土）午後2時	ギャラリートーク 杉山暁雲先生
6月16日（日）午前10時40分	第50回全国学生書道展表彰式（三階講堂）
午前11時30分	子供のためのワークショップ（三階研修室）
午後1時30分	支部長講習会（三階講堂）
午後4時30分	五人展インタビュー
6月18日（火）休館日	
6月19日（水）午前11時	ギャラリートーク 山口啓山先生
午後1時～	実技講習会（三階研修室）
6月21日（金）午後2時	ギャラリートーク 中村巍山先生
6月22日（土）午後1時45分	学生展講評会
午後2時30分	子供のためのワークショップ（三階研修室）
6月23日（日）午前10時30分	読売書法展添削会（三階講堂）
午後4時30分	表彰式（第1室）
午後6時	閉展

※六月十六日(日)10時40分より、国立新美術館三階講堂にて表彰式がと り行われます。(P51「書象会便り」を参照ください)受賞の皆さ んのご出席をお待ちしています。	味清栗栗細石村高小吉平田平梅 本田川戸野井上野甲賀松中田澤	廣進阿古西吉金土新角小平 瀬部内川子屋井田山井千	武安原莉夏 藤原結香	記信山念先生賞
	真波陽春夏董望日大天彩早星 佳琉愛香歩花華那睦雅音奈穂乃	美桜香由く璃佳葉綾音 楓優乃里乃蘭ら乃凜美奈音	協日本書道大賞	協日本書道大賞
	菊花寺松齋八江成森鈴小川鈴中瀧西久今荻末 地岡井宮藤代野瀬本木林島木沢谷澤井井原田	連盟日本書道賞	藤滝櫻関南三有濱閑山藤 木沢田口保石賀野浦笠原	小茂根嘉帆太郎
	侑駿奈歩由日真結優実理愛愛萌梨日椋子 霞奈愛太英真愛花央衣菜佳奈美遙実夏緒和子	日本書道賞	幹愛う一葵心葵太未た慧音菜結衣郎	和愛り董奏
	平田大西樋内長渡小吉金龜門中高百廣塩片北加大仲榎染谷 田中久村口谷邊林澤岡間文野村昌瀬川山川市あ	書推奨	佐平三上佐藤根肥野	牧郡司
	美早彩美ら水勇莉二秋美翔未芹女ま俊花深怜愛未や紀 穂奈咲ら香太琳奈葉菜子太桜香香哉結雪雅奈美玖か織	象賞薦	季まり杏樹彩莉華依	理世彩華子凜紀
	中鶴飯神西佐大田高黒佐勝小竹高河塚長貞太文岩中浜安昼夜池宮太成小白長木萩立 山沼田谷澤藤矢中橋澤々間川内瀬橋合田門田田野田島田村間上本田瀬倉石谷下尾川			
	七莉恰未菜璃優藍佑美友萌冴の友胡野紅佐颯結柚志沙幸春瑞愛眞玲愛美舞千朋茉 星央奈来子乙奈空花月梨絵京か理桃乃愛桜哉斗奈穂弥那撫希莉優紬菜加咲香鶴香弥			
	吉高中白貝池古安山成清刈柏原山瀬菊平豊清高田菅鷗青高高中天三槌中今 村橋山土藤谷澤井口相田込野澤戸地林田水橋口谷原木橋松村利原屋島井ひ和			
	優理め陽由宣梨彩実舞桜仁実雪七七心涼麻寛寧優麻琴朋な心花雄彩水 未彩る崇唯輝音葉心心都子菜花姫海海羽花央太月羽央美花た愛優奈大乃晶			

第50回全国学生書道展上位入賞者速報

第五十八回 書象展受賞者

余山茂布福富塚宿嶋渋菅 語口木施山田本谷埜谷野 元芳麗杠京童皎硯壺靜芋 祥節節華江柳沙心玉秀里	《獎勵賞》 十一名	山日塚谷閔島小泉 比中野原川澤田林切澤 孔照花汀劍壺貞靜禾 心悅瑤楓山峰月唱苑	《櫻花賞》 九名
--	----------------------------	--	---------------------------

加影加大梅井池荒 藤賀岡山美井原上野木 江天節凜華美愛佳 風性真玉聖子麗扇	《特選》 三十三名	山星中長内鈴木川岡大太稻 本野村島藤木内保田村田葉 爽華春天秀杏洞麗映玻荷京 節逕桃意月静舟爽華玉春	《書象賞》 十二名
--	----------------------------	---	----------------------------

渡矢向宮南御丸松牧林野西中遠辻田田田高高高征小小
 辺作井澤野柴山岡司谷本峰村中中幸橋橋橋野森池
 紗麗伶晃晨英美馨惠泰快風裕櫻霽久滿華智麗壺詠碧大峰
 心川那靜窓遠子秀風吟風聲子庭紗美珠慧峰湖登草空工弦

柏鹿角小小大及遠榎内内上今今井池飯安有淺赤 嶺島崎田川原高熊石川藤谷村田川野井井澤田島藤賀見井 と天泰毅葦陽夢千慈翠華靜名康優希華梢和莉泰蒼康游 み枝虹帛峰仙麗宵秋苑花雅詠琳芳螢翠紅遙琴子杳松玄絹惠	《秀作》 二三〇名	
--	----------------------------	--

渋佐佐笛佐坂斎斎安小小古小黒久保保北岸川川金金門加加片
 谷野藤森孝井藤藤永林林林賀池崎田田保原本上子山脇藤藤岡
 濤紅梗光美錦菖華泰天真華晨節李麗珠光葉敦裕葉見里嶺芝珠
 皐流紗蘭子風月駿象苑志蓉雪麗心香遊真水草子月蕉紹緒心華松

中長永虎戸土坪坪續土玉田田田多竹竹高須鈴杉庄周下嵩
 沢江井本田井内井橋屋屋井畑中中中田野内内城田木山司藤平田
 嶺白麗溪旭雲廣名華蓮寶麻映麗穗紗安翠直多優蕙蘭輝朴文成悠
 花羽扇風蓉峯扇穗舟春子芳竹暉虹乃紗美子節影光光山界苑子

宮水神三三丸間真松真前本本藤福廣廣平姫半濱根仁新西西永中
 枝島田神浦山宮殿田島島間間原里本瀬田野田田津平田川田島
 華溪五李欽花粹司玄梗李双鐘眉祥黎黎千知綠浩賀明涛錦桃萩
 凰彩霞福風造穗心峰穗翠葉葉雪月己華湖節子風美子秀花節林泉

青青 木木 千響 波泉	《褒状》 二三九名	魚渡若吉吉横横湯山山山柳森森百百宗務宮宮 辺井見田山山浅田下口口澤井瀬瀬形台原下 桃伸汀美仙京葉英桂幸紀夢京霽涼壽麗泰紅武 宮幸珠茜山丈節苑葉耀靜光苑琴華香香吟煌玉浩
----------------------	----------------------------	--

尾小荻大大太大大遠遠内氏上上植岩岩今井井市磯石石生井安有荒荒新阿青青
崎口野山橋田川川藤藤田原原原草田井井上原川貝橋田野口藤馬井井部山木
光妙明妍節志惠美李晨溪梅白章光澄保泰葉清壯琴安歌麗碧雅萌遙妹谿剛信由
美仙笛龍舟苑美子雪翠茜惠麗敬苑葉歌桂楓光一三夫節玉瑤楓禾霞光祥節翠光

是小小小小兒小小煙黑倉熊久清木城北北北蒲川川刈上上金金片鹿笠小小落
常山松林林林玉島池山岩谷野田田村戸ノ川川原原上間條條澤澤山島原野沼合
麗勇白訪晴水泰泰高紫李奏珠光晶友渚京名有美壽優靜壽喜節華邀未秦蕉宗江
陽峯帝泉香煌壽泉風瑛香風天瑛子子月秀紗美子石華映星游雨虹月華風苑心水

瀧高高高高染園閔諷須菅白下清清島嶋柴宍塩佐佐佐佐佐佐佐佐佐
口橋橋梨田杉木谷谷山根根訪藤原木村水水田澤田戸谷藤藤藤木川口井藤藤藤
加穗桜弘花景晟桃圭莊祥虔珀理彰智沙麗志夕康春桂翠玲望江梅靜千秀典泰香
代波嵐子庭汀秀雨苑心節山舟花月悠櫻艸織節惠信春桐窓春蕙清章春岳子城琳

久東半針林林早濱花初長橋橋野根西西西中中長鳥鳥豐豊豊筒長田館伊竹武武
末田寿川吉形津川本爪尻津野澤垣山谷田山居田田島井南中野達前田居
大瑞珠簾佳靜感濤壺美紫桃泰益凜映光美友汀壽真大晃月江玉彰鳳知梗節典
地逕水玉怜蓮節心山博靜芳芳淨之心靜風穗節珠敬理慶翠性惠袖玉節節華峰子

山柳柳森森百茂望村宮宮宮三三美峯南三三町牧堀堀古古船藤藤藤深平平平
田澤沼井瀬木月野下崎入村藤部村方浦浦田田米屋河越本本牧川山林野
敦逸秀京游真白篁清啓桜晟杜明久節伊清玄徑輝愛康葵葉松葉典靜隆苑千桂重
子葉光仙真花水心実光蘭光心成子琥子玄記石子鈴峰翠明菜徑楓川雪心繪秋子

宗妹鈴杉篠佐笹佐作後後栗熊木北木甘鎌折荻今石渡和若吉吉吉吉吉橫湯山山山
尾木村田藤生木田田藤原田下澤内中倉笠原井原部田山野田崎岡山坂田田田
玉睦華和秀里藍春名翔さ明谿研日惠師琴白青翠花華穏湖麗靜光沙閑裕玉榮
栄子綾美水美花幸琳珠く麗峰治博子果竹羽華葵幸天葉空葉楓邦搖春雲靜麗紅

渡平野中長土田染住清佐小越清柄金井池安相吉森室三樋林中富寺寺手辻田
邊吹田村戸屋村谷吉水藤林谷兼澤子上田部原田田浦口條沢脇島塚岡中
橙純昌由智さ由教美憧祐礼信実憧友珠青美憧眞由恭明志玲正智浩ゆり美
泉子夫美見り子子泉子佳行紅月里杏泉子光子子花桜豊奈祥恭子子玉芳

久永豊田高上安
井濱田中橋野齋
萌和真彩真沙優
夏歩織奈実月希

《入選》

七名

安平酒北神虻齋
原田井岡林川藤
莉早彩実桃梨美
夏穂帆理子子悠

《褒状》

七名

高校生出品

8 参加申込 7月12日(金)までに同封の「払込取扱票」にて費用をお振込みください。
ホテルは4~6人の部屋です。同室希望者のお名前をお書きください。
会員以外の方は、書象会本部 ☎0422-53-9743 へお問い合わせください。

9 日 程

- 【8月31日(土)】 12:00~13:00 受付、更衣室で着替えをすませ荷物を持参の上、開会式会場へ集合。
13:00~14:00 開会式 2F 華胥
14:00~17:00 錬成
18:00~19:00 夕食 2F 花舞
20:00~23:00 任意錬成
- 【9月1日(日)】 6:30~ 起床
7:00~8:30 朝食 1F 飛翔
9:00~12:00 錬成
12:00~13:00 昼食 2F 風の杜
13:00~17:30 錬成
18:00~20:00 宴会 2F 花舞
20:30~23:00 任意錬成
- 【9月2日(月)】 6:30~ 起床
7:00~8:30 朝食 1F 飛翔
9:00~10:30 錬成作品鑑賞の会、閉会式
10:30 解散

10 変則参加の場合の費用計算……【1泊の人の費用】

下記A, B, C, D, Eの内、必要な項目の費用と17,000円（指導料・錬成会場使用料・運営費）の合わせた額となります。

- A 31日(土)宿泊費(一泊・夕朝食付) 14,000円
B 31日(土)夕食のみ 5,500円
C 1日(日)昼食弁当代 2,000円
D 1日(日)宿泊費(一泊・夕朝食付) 15,000円
E 1日(日)夕食のみ 7,500円

例(31日宿泊で1日の昼食を必要とする方)

$$A + C + 17,000\text{円}$$

11 交 通 ●電車で 東京駅から1時間30分~2時間

新宿駅 ————— 東北新幹線 75分 ————— 郡山 ————— 磐梯西線 快速14分 ————— 磐梯熱海 (磐梯熱海駅からホテルまで送迎バス)

●車で 東京から約3時間

浦和 I・C ————— 東北自動車道 140分 ————— 郡山JCT ————— 磐梯道 8分 ————— 磐梯熱海 I・C ————— (5分) ————— ホテル

12 前泊取扱 遠方から参加される方のために前泊が可能です。ただし、書象会では取り扱いませんので、利用者が直接ホテルに申し込んでください。また、前泊分の宿泊代の清算も直接行ってください。合宿経費と混同なさらないようお願いします。

令和元年度 書象会夏季合宿鍊成会のご案内

書象会研修部長 柳澤玄嶽

今年の夏季合宿は、福島の地での開催となります。雄大な磐梯山、豊かな猪苗代湖に近く、大自然に抱かれておおらかな気持ちになれる場所です。合宿会場は、11年前と同じ磐梯熱海温泉「ホテル華の湯」です。静かな林の中に美しいツインタワーがそびえる近代旅館です。ホテルの大きなコンベンションホールを解放していただきましたので、ゆったりした鍊成が楽しめます。基本の筆遣い習得コースから作品制作コースまで多彩な鍊成部門を用意しております。書友お誘い合わせの上、書道三昧の夏をお楽しみください。

記

1 期 日 令和元年8月31日（土）～9月2日（月） 2泊3日

2 会 場 磐梯熱海温泉「ホテル華の湯」

〒963-1387 福島県郡山市熱海町熱海五丁目8-60 TEL 024-984-2222

鍊成はホテル内で行います。

鍊成用具等を「宅急便」でホテルへ送付される方は30日着の「期日指定」とし、宛名（ご自身の氏名）の上に「書象会」と記入してください。

3 定 員 200名

地元会員の便宜を図るため、通いの鍊成も可能です。ただし、2泊のうちの1泊は必ずホテルに宿泊することを原則とします。

申し込み期日内でも定員になり次第締め切れますので早めにお申し込みください。

4 費 用 46,000円

ホテル宿泊費、鍊成会場使用料、指導料、昼食代、運営費などを含みます。

ただし、手本代は含みません。また、通いの人は費用が異なります。10の変則参加の場合の費用計算を参照してください。

5 指 導 者 書象会の幹部の先生方が小グループ別に懇切丁寧に指導にあたりますので、初めて参加される方も全く心配されることはありません。且つ、十分な成果を得ることができます。

6 部 門 「書象誌半紙課題」…半紙。「書象誌」の中の楷書や行書、仮名の半紙課題の練習。

「信山流条幅」…半切。「書象誌」の中の漢字条幅、隸書条幅仮名随意の課題の練習。

※以上2グループについては書象誌8月号と9月号を持参してください。

「書象展」…全紙1/3・半切など。様々な書体でご自身に合った効果的な作品作りを学びます。初めて展覧会に出品する方には最適です。

「謙慎展A」…謙慎展評議員・一般公募出品サイズ。本格的な条幅作品の作り方を学ぶ基礎鍊成。調和体・仮名を含みます。

※以上2グループについては本部で手本を用意します。

「謙慎展B」…謙慎展理事・評議員・その他の書展出品者。

「日展」…日展出品者。

※以上2グループの手本については各自でご用意ください。

※参加申込書には謙慎展の場合AかBの回答もご記入ください。

7 持 参 品 書道用具一式、毛氈の下に敷く広めのビニールまたは古新聞紙、その他各自必要なもの。

頭痛や擦傷などの簡単な薬は係が用意しております。なお会期中に「玉蘭堂」「鷺毛堂」の書道用品業者出張販売を予定しております。

第47回日本の書展 (本会関係出品者)

○ 柳貞松	令和元年6月30日	会期令和元年6月4日～7月2日(火)	会場福岡アジア美術館	会期令和元年6月4日～7月2日(火)								
○ 小糸柳	令和元年6月30日	(九月展)	(九月展)	令和元年6月4日～7月2日(火)								
○ 選拔委員会	令和元年6月30日	(九月展)	(九月展)	会期令和元年6月4日～7月2日(火)								
○ 選抜委員会	令和元年6月30日	(九月展)	(九月展)	会期令和元年6月4日～7月2日(火)								
○ 選抜委員会	令和元年6月30日	(九月展)	(九月展)	会期令和元年6月4日～7月2日(火)								
○ 選抜委員会	令和元年6月30日	(九月展)	(九月展)	会期令和元年6月4日～7月2日(火)								

令和元年度 子どものためのワークショップ

「団扇(うちわ)に書いてみよう」

書象展会期中、子どものためのワークショップを2回にわたり開催します。

昨年に引き続き、子どもたちが団扇(うちわ)に好きに文字を書くことを通して、ご利用の保護者や文部科学省と「書を楽しく学び、書をもっと身近に感じる時間」にしていただけれどと思います。

今年も、ゴム印を様々な色のスタンプで押して作品を完成させたりと、様々な企画を考えています。お弟子さん、親子、お孫さん、お友達を連れての参加など、多くの皆様の参加を待ちっています。

必要な書道用具などは会場に準備しますので、手ぶらで気軽に来てください。

- ◆ 日時 一回目 六月十六日(日)午前十一時三十分～午後十二時三十分
 ※ 学生展表彰式後に開催します。
 また式に関係なくとも自由に参加できます。
- 二回目 六月二十二日(土)午後二時三十分～三時三十分
 ※ 学生展講評会後に開催します。

◆ 会場 国立新美術館 三階 研修室

- ◆ 申込み 用具の都合がありますので、あらかじめ本部までご連絡いただけます。
- ◆ 講師 特に必要ありません。
- ◆ 参加費 無料
- ◆ 持ち物 特に必要ありません。
- | | |
|----------------------|----------------------|
| 中村 露崎 | 藤森 大節 |
| 巍山 先生 | 玄峯 先生 |
| 翠山 先生 | 先生 他書象会本部役員がお手伝いします。 |
| 林田 翠山 | |
| 藤森 大節 | |
| 魏山 先生 | |
| 玄峯 先生 | |
| 先生 他書象会本部役員がお手伝いします。 | |

第12回藤岡月華書展

会場 平成三十一年四月一日(月)～六日(土)
銀座「新井画廊」

月華展を見て

荻田光山

桜咲く中、第十二回藤岡月華書展が、銀座新井画廊で開催されました。

賑やかなオープニングパーティに始まり、さまざまな分野の方々が、来観されました。

今回は、好きなことば、身近に起ったことなどに、目を向けられたとのことです。

書歴七十年になる先生の主軸は、甲骨文です。二十九点にのぼる多彩な作品が、展示されました。

保存樹が繁り、水路の流れるお宅の庭には、コゲラがやってきます。作品『啄木鳥』は、甲骨文の中にいのちを感じます。大作『氣樂坊』は、烈しさを秘めつつ、温かい広がりがあります。お父様がお好きだった字『誠』は、モダンで心が落ちります。

『美智子妃の御歌』の軸作品には、気品と優しさがあり、妃への敬意が感じられます。そして、曹操の詩の一節『志在千里』は、まさに、先生の今のお気持ちを表わしているとのことです。

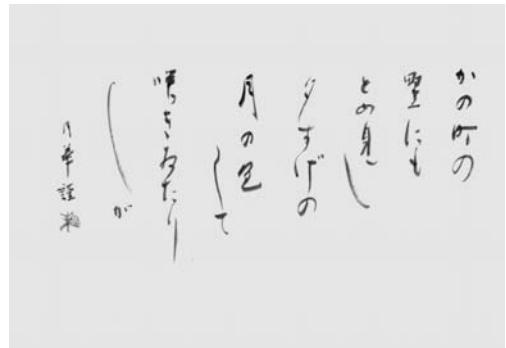
見ていて、楽しく、心引かれる作品群です。

自然を愛し、好気心旺盛な月華先生には、一門下生として書への追求はもちろん、人生の師としても教えていただくことが、沢山あります。平成から令和につながる、相応しい書展となつたことと思います。

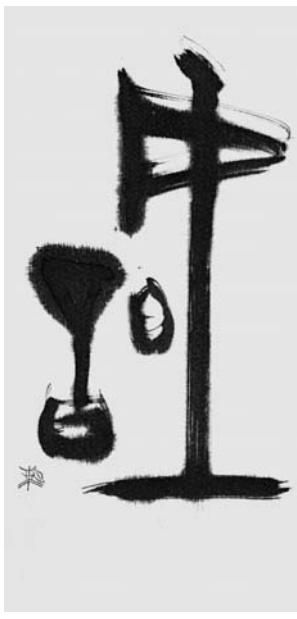
会期中は、上條節夫様御夫妻、唐澤かづ子様、田中会長御夫妻、書象会の方々の御高覧を頂きました。(鹿島未華記)



オープニングパーティー（左が藤岡先生）



「美智子妃御歌」



「誠」

月華展を見るたびに思うことだが、旧作の大作が生きとして、こちらに迫ってくる。前に見たはずなのに、まるで印象が違う。

小品の数々は、月華女史の頭に浮かんだイメージと心のありようが一つになって、よどみも迷いもない。

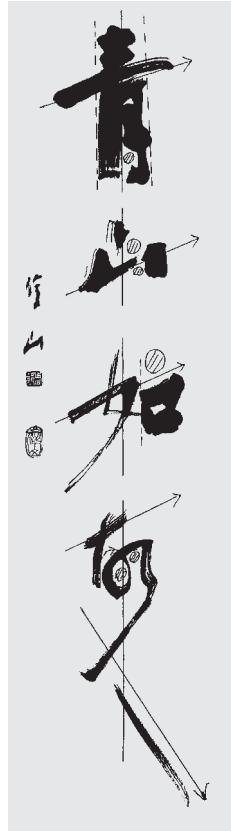
そして、素材の字句はもとより、筆も墨も紙も額も、女史の目にかなった、日々の生活の中で心がけて集めたり、探したりしたものを、まるで普段使いの延長線にあるがごとく自然で、優美に使いこなしている。

「ありのままの自分で表現したい」といつも考えているが、不必要な力みばかりが先行してしまふ私にとって、「かくありたい」と願うのには、まだまだ勉強が足りない。

王羲之にしても顔真卿にしても、尺牘や草稿にその魅力と価値があるようだ。書を学び表現するということは、日々の生活の積み重ねによって生まれる「その人らしさ」だということをあらためて感ぜずにはいられない。

書象会通信条幅研究会課題の解説（令和元年五月～七月まで）

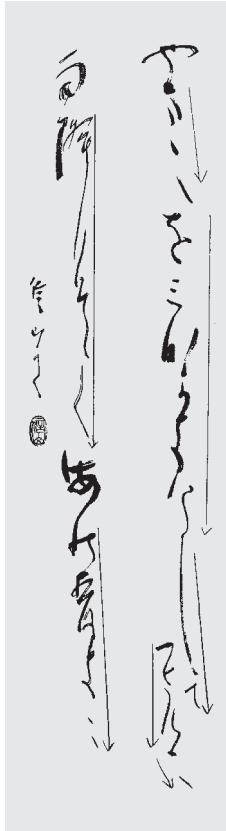
信山流



隸書



仮名



今回は連綿の多い仮名手本です。

「み(三)な(那)か(可)き(支)け(介)して」の部分は一気に、しかも受け

とめるところはしっかりと受けてから次へすすめる。

「降りそそ(ゝ)ぐ」では幅をせまく、行をたてて「海」で墨をつけ右下方向へおさめていく。

「け(介)して」の「し」と、「降り」の長く伸ばす線の長さや表情を、同じにしないように、変化をつけて書いてみましょう。

最初の三文字までは、正確な楷書により緊張感を持たせ、後半二文字では、行書連綿により前半の緊張感から解き放たれ、心地良いリズムを醸し出している。作品全体の横画は、ほぼ同一方向に運筆されている。

・青：三画目の横画以外は同じ長さ。

・山：一画目は字全体のやや左寄り。

・如：偏と旁の位置がポイント。

・故：空間の取り方に留意。図版参照。

・人：最終画は四文字の横画に対応しながら、右下方向へ、腕全体で運筆する。

正師範紹介

書は一生の稽古なり



若竹支部

佐々木 梅清

墨をたっぷりつけて筆で文字を書く。やわらかい筆の感触が心地よく、「書道って素敵だな」と感じるひとときです。この度は、正師範の認定をいただき、ありがとうございました。日頃から熱心に御指導して下さる上條恵香先生には、深く御礼申し上げます。授号の際、上條先生には「書は一生の稽古なり」というメッセージをいただきました。この言葉を胸に刻み、これからも精進を重ね、書道のすばらしさを伝えられる人になりたいと思います。今後とも御指導よろしくお願いします。

感謝



青雲支部

武田 純彩

この度は、正師範の認定を頂き、驚きと同時に喜びでいっぱいです。先生には「子供達も大変お世話になりました」「よかっただけで、お母さん」と声を掛け頂いた事がきっかけで、三人で習いました。しかし、私の仕事が不規則な勤務のため、続ける事が難しいのではないかと不安と迷いがありました。そんな時に、「書ける時」に書いて持って来て、そのお言葉に甘え、ここまで続ける事が出来ました。「感謝」の一言です。これも先生の丁寧な御指導とご協力のおかけです。今後とも御指導の程宜しくお願い申し上げます。

感謝



青雲支部

宮下千雪

この度は正師範の認定を頂き有難うございました。この度は正師範の認定を頂き、驚きと同時に喜びでいっぱいです。先生には「子供達も大変お世話になりました」「よかっただけで、お母さん」と声を掛け頂いた事がきっかけで、三人で習いました。しかし、私の仕事が不規則な勤務のため、続ける事が難しいのではないかと不安と迷いがありました。そんな時に、「書ける時」に書いて持って来て、そのお言葉に甘え、ここまで続ける事が出来ました。「感謝」の一言です。これも先生の丁寧な御指導とご協力のおかけです。今後とも御指導の程宜しくお願い申し上げます。

私は、小学生の時から習字を続けてきました。だから特待生になれた時は、すごく嬉しかったです。特待生になれたのは指導して下さった先生と送り迎えをしてくれた親のおかげと思い、感謝しています。

支部長先生より一言 特待生おめでとう。部活動のバ

スケットと習字を両立させました。更なる向上を願っていますよ。

特待生紹介

(学年は試験合格時のものです。)

特待生になつて



若葉支部 中二

長山 麻緒

今回の試験で特待生になれることを嬉しく思います。私は小学校二年生の時から書道を習っていました。約七年通わせてくれた両親と先生に感謝です。今よりも綺麗な字を書けるようにさらに精進したいと思ってい

ます。
支部長先生より一言 初チャレンジでの二冠達成おめでとう!!落ちついてお稽古する麻緒ちゃんの実力が発揮されましたね。

私は、小学一年生のころ書道を習い始めました。中学生二年生で特待生になることができました。「合格。」と知ったときは、とてもうれしかったです。今回は、硬筆での特待生なので、次は毛筆で取りたいと思います。
支部長先生より一言 特待生おめでとう。勉強と部活動の両立も頑張りましたね。次回は、毛筆の部で特待生を目指そうね。

硬筆の特待生になつて



玄巣支部 中二

岩田 穂乃花

普段、筆よりも鉛筆を使う機会が多いので、腕が上達したのは、とても良い事だと思います。それに私自身も見ていて気持ちいいので、ますます書くことが好きになりました。これからも日常で活用していくたいです。

支部長先生より一言 毛筆に続き硬筆も特待生合格おめでとう。絵も字もセンス良く上手に書く誠悟君、今後も期待しています。

私は幼稚園の年中から習字を始め、上手に書けなくて嫌になることもあったけど、先生が根気よく教えてくださったおかげで特待生になることが出来ました。根気よく付き合ってくださった先生に感謝します。

支部長先生より一言 彩愛ちゃん、おめでとう。グングン上達して、大きく美しい良い字になりました。硬筆もあと少し!!

私は小学生の時から習字を続けてきました。だか



名東支部 中一

竹田 風奏

私は幼稚園の年中から習字を始め、上手に書けなくて嫌になることもあったけど、先生が根気よく教えてくださったおかげで特待生になることが出来ました。根気よく付き合ってくださった先生に感謝します。

支部長先生より一言 彩愛ちゃん、おめでとう。グ

ングン上達して、大きく美しい良い字になりました。硬筆もあと少し!!

私は小学生の時から習字を続けてきました。だか



名東支部 中一

脇田 彩愛

私は幼稚園の年中から習字を始め、上手に書けなくて嫌になることもあったけど、先生が根気よく教えてくださったおかげで特待生になることが出来ました。根気よく付き合ってくださった先生に感謝します。

支部長先生より一言 彩愛ちゃん、おめでとう。グ

ングン上達して、大きく美しい良い字になりました。硬筆もあと少し!!

今月の優秀品



△漢字条幅▽ 評 寺尾 碩雲

中田秀麗 字形・大きさ・字間良し。
泉澤木苑 泊えた線質。

豊田桂秀 厳しい線が心に響く快作
手本を消化し、流暢に書き上げている。

篠塚葉曉 手本に忠実。静かな雰囲
気でまとめた。

小林貞月 逆筆がよく効いた、伸び
やかな作品。

板谷静思 小ぶりに格調高く仕上げ
た佳作である。

前山景草 信山流に北魏楷書を上手
く加えた作品。

名久井光扇 手本をよく見て重厚な線
で表現できた。

△条幅随意▽ 評 恩田 靜月

西鴻齋花 破綻なく書き上げた。品
格も高い秀作。

青柳綠水 墨色の変化に富み、線に
躍動感もある。

北村照節 縦に降りてくる心地よい
流れが印象的。

△通信条幅▽ 評 樋口 玄山

遠藤翠雅 各文字が上下でうまく調
和した。

加藤穆舟 安定した線質、構造で全
体をまとめた。

野口虹汀 錐いタッチで貫通力あり。
余白美もある。

基本課題

評 二瓶 嶽風

枯魚煎

濁水

枯魚煎

濁水

虹
霞
山
映
小
雨
淨
紙面にいく込む重厚で落ち着きある作。

研究課題

評 久保 妍山

朝辭白帝彩雲間
千里江陵一日還
两岸猿聲啼不住
輕舟已過萬重山

朝辭白帝彩雲間
千里江陵一日還
两岸猿聲啼不住
輕舟已過萬重山

朝辭白帝彩雲間
千里江陵一日還
两岸猿聲啼不住
輕舟已過萬重山

朝辭白帝彩雲間
千里江陵一日還
两岸猿聲啼不住
輕舟已過萬重山

虹
霞
山
映
小
雨
淨
紙面にいく込む重厚で落ち着きある作。

古典課題

評 二瓶 嶽風

事違
感う

至然
感う

不知老
之將

至及其
所之既

憧
動きのある線で、全体感よくまとめた。
調子。

無受想
行識無

無受想
行識無

無受想
行識無

無受想
行識無

翠
翠
翠
翠
松
嵐
かりん
花
字形の工夫と潤滑による爽快感がよい。
洞鍾繇を想わせる字形で、柔軟な線大佳。
頭部を大きくし、下への流れを見せた。

春秋
師範
和常

春秋
師範
和常

春秋
師範
和常

春秋
師範
和常

泰
鐘
瑤
鐘
鐘
鐘
かりん
松
息の長い線質で書かれた作。この調子。
軽快で懐が広い文字で出来ている作品。
一字一字丁寧に書かれているのが良い。

無受想
行識無

無受想
行識無

無受想
行識無

無受想
行識無

鐘
鐘
鐘
鐘
鐘
鐘
かりん
松
息の長い線質で書かれた作。この調子。
軽快で懐が広い文字で出来ている作品。
一字一字丁寧に書かれているのが良い。

行識無

行識無

行識無

行識無

鐘
鐘
鐘
鐘
鐘
鐘
かりん
松
息の長い線質で書かれた作。この調子。
軽快で懐が広い文字で出来ている作品。
一字一字丁寧に書かれているのが良い。

師範部

評 柳澤 玄嶽

小暮 静翠
佐藤 茜沙
金子 夕紅
齋田 昌静
工藤 和春
平岡 想花
三浦 径石

格調高く、品位有り。練度の深い秀作。
流麗な線質と爽快さ溢れる作。余白美佳。
抑揚の変化に富む豊かな線。形も見事。
正確で確かな腕法、安定した筆遣い見事。
明朗快活な流れ。素直な筆遣いが良い。
律動感に溢れ切れと弾力を兼ね備えた作。
温順さの中に折目正しい豊潤さ有る佳作。
素直な筆遣いでリズミカルに運筆された。

学生部

評 杉山 晓雲

岩村芽依 筆の入れ方に配慮され、切れ味がよい。

神谷未来 余白の空け方がよく、字配りが美しい。

小田切日奈 墨色鮮やかで伸びやかに筆を運べている。

鈴木莉理子 点画の等分割が正確で形がとても美しい。

溝口真那佳 曲がり角の書き方がよく習得されている。

黒田悠美子 太い線で紙面いっぱいに書ける力がある。

前田莉子 どこまでも伸びてゆくような運筆がよい。

斎藤彩華 筆を長く運んでゆく粘り強さ見事だ。

吉原美桜 たて線の筆運びがよい。リキまないから。

宝田来瞳 右ハライが上手に書ける。練習したね。

平野寧音 文字の中心のとり方が正確で安定した。

田中陵太 广瀬楓 ふでの力をぬかないでの力づよく見える。

片山りおり ふでをしっかりとぎつてかいている。

西尾みなみ おちついたきもちでたらにかけた。

石井都月 かきなれた字でせいかくにかけている。

半紙隨意

評 荻田 光山

豊島彩友 字形の取り方、筆運びともにすばらしい。

薄井光悠 同じ太さで、しっかり書いています。

澤本さくら 紙いっぱいに元気に書けました。

ふとく、大きくりっぱに書けました。

このページに掲載された人には書象会より記念の
筆をさし上げます。

小光中二 豊島彩友

進級

小六 薄井光悠

上達

小四 山下ひまり

友

大

らかべく

まとう

ことう

いし

合話しい

な木

な木

らかべく

学習目標

草木の芽

草木の芽

合話しい

遊ぶ

遊ぶ

遊ぶ

学習目標

無受想																		
行識無																		
行識無																		
行識無																		
行識無																		
行識無																		
行識無																		
行識無																		
行識無																		
行識無																		

東竹雅	樺級	柏玄	優八	樞橫	倭杉	段假	段假	高風竹	行									
根華森	位	芳耀	生戶	友二	杜美	大產	中城	宮若	小皓	八竹	八游	竹書信玄	柏太	飯島	久保田	小林澤		
兒染森	鎌級	青木	真	響泉	會苑	吉央	松城	雪墨	平花潮	華戶	友泉	大心	心象	山田	藤澤			
玉谷田倉	位	井枝	江戸	柏崎	中乾	永長	中村	川島	羽清仁	染谷	江戸	佐々木	須藤	越川				
寬教玲師		尚峯	桜子	恵香	みち	佐由	北野	小林由	平水	平谷	長竹	木子	藤澤					
子子海竹		之	惠香	光	正聖	み	由	綾子	仁	賀教	雅	鶴子	高裕	園廣	麗	文舟	香志	憧

杉中一 後藤 雄登 目標	中一 乃愛 目標	中三 登間 瑞希 目標	野原で 遊ぶ 遊ぶ 遊ぶ	野原で 遊ぶ 遊ぶ 遊ぶ	野原で 遊ぶ 遊ぶ 遊ぶ	野原で 遊ぶ 遊ぶ 遊ぶ
味太郎 目標	土筆 中一 津田 葵菜 目標	中一 高橋 澄 目標	野原で 遊ぶ 遊ぶ 遊ぶ	野原で 遊ぶ 遊ぶ 遊ぶ	野原で 遊ぶ 遊ぶ 遊ぶ	野原で 遊ぶ 遊ぶ 遊ぶ
中一 塩川 咲季 目標	中一 琴美 目標	中二 川合沙羅 目標	野原で 遊ぶ 遊ぶ 遊ぶ	野原で 遊ぶ 遊ぶ 遊ぶ	野原で 遊ぶ 遊ぶ 遊ぶ	野原で 遊ぶ 遊ぶ 遊ぶ
末乃果 目標	中一 藤崎 みのり 目標	中一 桐原 彩 目標	野原で 遊ぶ 遊ぶ 遊ぶ	野原で 遊ぶ 遊ぶ 遊ぶ	野原で 遊ぶ 遊ぶ 遊ぶ	野原で 遊ぶ 遊ぶ 遊ぶ
鈴鹿 中一特一級 鈴木 晴輝 目標	中一 河野 将之 目標	中一 麻央 目標	野原で 遊ぶ 遊ぶ 遊ぶ	野原で 遊ぶ 遊ぶ 遊ぶ	野原で 遊ぶ 遊ぶ 遊ぶ	野原で 遊ぶ 遊ぶ 遊ぶ
中一 助川 唯 目標	中一 滝沢 結衣 目標	中一準五 日菜 目標	野原で 遊ぶ 遊ぶ 遊ぶ	野原で 遊ぶ 遊ぶ 遊ぶ	野原で 遊ぶ 遊ぶ 遊ぶ	野原で 遊ぶ 遊ぶ 遊ぶ

〔毛筆 中二・三〕

み 鈴玄若玄杉須覗霞若土秀名華茅中一名東水中央戸正虹桂優虹大練馬北府花蓮硯扇青雲竹久喜華士筆ひま美苑豊島笹嶋

な 鹿樸竹黙坂墨松筆雪東藤原井澤鶴原桐原瀧谷昼夜間狩野川高橋副島尾上安村水田黑森石井三原和花董花

助鈴北川秦琳河野藤崎みのり乃暁樂登衣将之乃愛美菜乃愛美菜日菜彩遥香瑞希楓真琴音沙羅澄人聰奈春撫奈健哉哉太

川木菜琳乃暁樂登衣将之乃愛美菜日菜彩遥香瑞希楓真琴音沙羅澄人聰奈春撫奈健哉哉太

合話
いし

草木
の芽

草木
の芽

草木
の芽

草木
の芽

学習
目標

美菜
菜中一四段

か
かり

合話
いし

草木
の芽

草木
の芽

草木
の芽

草木
の芽

学習
目標

中一
高木
直優

合話
いし

草木
の芽

草木
の芽

草木
の芽

草木
の芽

学習
目標

美月
美月

合話
いし

伊奈
航汰

草木
の芽

草木
の芽

草木
の芽

学習
目標

美那
中一六段

涼々
涼々

合話
いし

合話
いし

草木
の芽

草木
の芽

草木
の芽

学習
目標

梨未
梨未

合話
いし

合話
いし

草木
の芽

草木
の芽

草木
の芽

草木
の芽

荷力
荷力

虹五
美名東

倭峯
石みな

伊奈
書之

杉月
練馬

柏心
中野

華雪
仙台

この
房風

那美

高木
ひかり

南保
大柿

稻原
大竹

深津
岩下

藤木
島村

飯山
柏心

小野山
絢乃

榎本
高島

寧々
真鍋

彩加
美月

眞愛
千結

桜麗
礼真

航汰
莉緒

由葵
優心

輝莉
幸希

松尾
涼々

鈴木
梨木

真砂
ひな

美優
美月

曲がり人生を持つ人には、自己の往事に信念を持ちと可能性を信じて金力を尽すとした。琴羽

古代文字はなかなかおもしろい例えは「人」という文字は立っている人間の形「ア」とかく、川の東ヶ谷

曲がり人生を持つ人には、自己の往事に信念を持ちと可能性を信じて金力を尽すとした。琴羽

「古代文字」はなかなかおもしろい例えは「人」という文字は立っている人間の形「ア」とかく、中三 南賢成

私が思う、貧しい人とは、限りない欲を持ちいくらあっても満足しない人のことだ。ホセ・ムヒカ 石田雅子

古代文字はなかなかおもしろい例えは「人」という文字は立っている人間の形「ア」とかく、黒田千尋

来週の学級会では私達の意見をまとめて発表する予定です。中山 鮎花 五歳

来週の学級会では私達の意見をまとめて発表する予定です。伊藤 東本 六歳

来週の学級会では私達の意見をまとめて発表する予定です。松尾 紗由季 五歳

来週の学級会では私達の意見をまとめて発表する予定です。高社 上野 六歳

来週の学級会では私達の意見をまとめて発表する予定です。平林 心羽 六歳

来週の学級会では私達の意見をまとめて発表する予定です。野島 ちひる 六歳

来週の学級会では私達の意見をまとめて発表する予定です。高岡本 優奈 六歳

来週の学級会では私達の意見をまとめて発表する予定です。鹿島 初菜 六歳

来週の学級会では私達の意見をまとめて発表する予定です。下里 優依 四歳

来週の学級会では私達の意見をまとめて発表する予定です。進藤 翔 六歳

来週の学級会では私達の意見をまとめて発表する予定です。有穂 ハク美怜 六歳

来週の学級会では私達の意見をまとめて発表する予定です。北府 翔 六歳

〔硬筆〕

【一般】
麗墨 若竹 折笠 琴羽

【中学】
華雪 小見 池田 江心
名東 石田 雛子

【小五・六】
八潮 皓花 進藤
杉 高社 新城 漢心 黑田 千尋 中山 にこ
上野 岡本 優奈 有山 ひなた 川口 菜々香 心羽
川久保 美怜 李 晴美 青木 瑞南 初菜

【小三・四】
練馬 中野 純心 若竹 綾華 北府 伸翔
石丸 東本 工 悅司 紗英 志奈 竜也 瑞南
下里 優依 野島 ちもと 青木 青木
川久保 美怜 李 晴美 青木 瑞南 初菜

競
書
成
績

□写真版
☆秀作
○昇級

映霞硯高有北水源右書瀬富 碩八瀬磯玄國墨沙林須汀龍玄中美志 // 檜岡虹珠 // 魏柏蒼笠書京葉皓若星産自春静玄茜静心墨 風象府代創文集戸士 雲戸戸辺燐府心羅 坂松文心野生摩 森谷友紅 山心空原之都月花竹 吉座久 横翠師行師 秀秀 映雪硯祥愛厚降隆邑稍谿陶秋真武光五葉耀峯翠清曉智旭映優康晨雪英劍彩通響珠小恭里硯菖湖翠良壇皓恭想和千昌夕茜静範書範 夜											
芳霞心仙麗子雪峯琴祥華代靜浩扇代蕉楓山溪羊汀真美雪姬子翠園遠山紅明山杏子影奈舟風亭幸楓水花月石花春節靜紅沙翠											
魏藏平 // 笠サ // 静巍樺游美玄 // 長 // 静華三産 // 皓柏玄伊桜京玄八絹志葉千長伊美高杉若平静上東巍富 // 青一露房 // 上大富東茅港 山成原ノ 山森墨菜嶺野 雪池吉 花芳黙樺森都黙南丘摩月曲野奈菜風 竹成 里光山貴 雲路墨風 尾阪貴陽野南 秀秀 青梅明泰美詠美靜貞紫征霽文秀靜靜華溪琴皓景我天李小雅順江象奏啓靜芭菜壽懷秀太雅秀溥千翠俊竹瑞順智夕壺康康敦華曉空 々 代											
沙恵桜薰亭舟靜松草光華子華唱惠幸逕風月雲光山性雪琴幸道蕙月風子志靜子明花庭一子峰仙子山瑛虹竹子園霞玉仙惠玉英子道真 浅自正奈 // 産柏御座長杉玄土 // 新松 // 玄文耕小小六美文土玄京長岐玄柏蒲飯玄大京 // 玄八幅八雅書巍若房倭一大湊董寿聖竹長 間産桂華 吉心牧吉翠 黙曜 城南 横化象光公平化範筆都翠阜横心田田成象都 嶽潮友潮之山宮風 絵阪 台 友寿 秀秀秀 莉清優淳高秋楠櫻佑邀光花摩敦志純燁美紗靜小芳美沙爽並香紀孝 稔文成穆雲佳詠華祥寿慶逕雅梗江梗盡綠惠珠最い昭花テ寿 恵 利 麗 す ツ											
杏遠美子苑麗舟洞庭光月紗仙紀子苑華山杏虹素琇月子雪節沙琳子光子 舟子華舟峯惠草葉葉月山月春翠茜紗桜水爽松玉み子瑠子香 // 笠 // 静 // サ香皓 // 京華八 // 京小花長 // 土 // 雅 // 京美小 // 笠若妻杉玄乙桐上杉船浅玄足 原 ン 花 雪都南 都平宛野 筆 都那平 原竹科 默訓生里月橋間樺羽 秀秀秀 泰泰泰泰小玲遊君靜靜美直美久藤祥華華華華華奧華初冬悠禮明邦典杠惠靜陵啓雅雅信和美博壽久泰京春明薰京秀陽杉裕李春 美 恵 恭蕙空淨翠秀心子思鶴舟子砂子花遊慧榕彩穗泉凌楓雅楓子美子楓華子琳光光映香楓代楓峰華惠咲月清光禾琴翠映蕙子香里											
葉 // 長 // 葉名 // 葉皓柏皓柏 // 静 // 華香華 // 笠大 // 笠 // 游李游美 // 霧珠 // 小 // 笠游 // 笠 // サ // 静 月 野 月束 月花芳花芳 雪 雪 原手 原 墨光墨菜 訪 悅 光 原墨 原 ン											
美静溪美真陽琴知ま敦三百和善晴芳翔己梗彩玲華華華華植華泰泰廣泰光泰彩泰友美泉李禮壽立舒知光泰泰泰由安泰豐里碧香裕江 智 奈佐 す 合 子淑苑子子三真子子行子子一子子芳花雲散奈駿杏紋琇芯子聲寿帛柚姫邦風桂乃城子光梢光光苑子山子惠搖箇芯松穹光芸舟慶翠繪舟織静静 芙大 // 雄樂 // 巍書巍土書 // 飯 // 和若 // 大光久 // 玄信 // 飯 // 玄 // 京 // 玄 // 濱 // 京長八 // 梢八美 // 長 // 野 二象 山書 山之山筆之 田 宮 象丘喜 嶽大 田 嶽 都 嶽 戸 都野潮 友潮菜											
み伊水伊幸蕙佐葵眉繪蕙蔦完勝 静孝梗宗雄圭由桜悠蕙士諱美桜枝成玉李双芳葵寿弦照洗英采典白津彩静兎花瑞倉壽皓富文静玉静杏晃静弘 ち 登 淳 香 子煌子茜泉影美翠月美翠頃江 江子華心峰苑里蘆葉鳳李雪虹玉苑蘆葉蘆葉雅照鈴葉蘆葉子羽楓楓邦月逕選子楓靜吟靜靜澄映靜千子 玄大楷宮 // 雄樂巍須沙 // 志桜石有桜美桜彦桜白奈 // 桜 桜笠 // 奈御 // 柏 // 志 // 長宮 // 美国 // 雄樂長若 // 心泉川地 山書山 山坂羅 摩森峯象森森森根森山華 森 森原 華牧 心 摩 寿川 生府 山書寿駒											
珀萌泰笙霞清雨小晨晴信智綴楊道暉洋蒼星晨豪 哲照裕素廣涼聖惠文光溥幹優泰礼励悦善豊鹿華聴香涼清寿寿祐佐晨蓮景茜霞澄寿真美 勇 代 舟泉泉仙菖茜香映雪沙翠翠悠羊舟幸山一峰紅英峰 山節子風山香嶽星嶽水山雨華仙子子子苑聲峰月苑華子星雅鳳貴子玉堤草英草泉江敬花子 // 莉唯水房瑞映靜竹映董 // 富房湊靜 // 漢聖北 // 莉玄東竹房 // 書瀬 // 產 // 須自杉桜 // 相樂須 // 汀玄半愛 // 珠 // 心代風样心象華心 貴風 象 府 横根華風 集戸 吉 坂産 森 興書坂 松心田心 紅											
翠輝聰祥壺名映寿理映翠明重青汀静汀妙惠寂靜翠嶺紅淳天谿雨谿谿朝愛喜萌青智智智智心煌天た泉松智絹順明由明史雅桂絵珠珠良こ珠真和 か 美 す 由 真香子月登琳祥汀香華笛子泉紅成茜仙由翠江雅花雪一翠暉虹彩峰芳子鈴春禾松寿祥炎快扇妙ね志沙洲子子美代子翠里遊水龍え颯美雄											
// 乙桐右恵松美 // 秀秋 // 玄六杉 // 浅秦 // 上伊八玄惠美 // 正遊神玄土神 // 産御自浅湊映霞 // 高湊 // 大 // 北 // 有 // 北 // 緩瀬 訓生川戸蓉 雪川 横郷月 間野 里奈南成川五 桂 奈成曜龍 吉牧雀間 心墨 風 阪 府 象 華戸											
尚千涛梢杏久明菊蕙翠晶桂か昭杉容韶祥愛芳濤陽康春祥惠尚采花遊慷慨朴鈴恵秀清貞淡琇皓映晨白蒼洸清晨珠玻萌凌仙隼加節夕歌友伶玲繪照弘 美 り 山春泉陽果子惠枝果苑山春ん惠咲光泉映光月山松絹信苑彩子女峰嘉泉山華風娥光泉愁峯草笙堂葉風花秀悠玉翠翠山代峰節節美那翠子美子 // 玄 // 美神秀 // 一墨巖國房浅飯桜 // 足半乙房 // 白玄 春紅玄 // 成瑞富瑞 // 上 // 富倚 // 富小 // 青 // 瑞寿 // 宝 // 青 // 霞 // 富 横 墨 雪 絵墨山府風間山森 羽田訓風 囲默 鳳竹心 城祥貴祥 尾 貴雲 貴川 雲 祥台 春 雲路 墨 貴											
小荷照哲整秀李秀礼泰弥鶴天湖恵佳真佐美景青汀香朋心美春美勇明光名千霽康康安天天喜光藍陽藍流麻明純名名訪寶裕一千花溪虹藍壺佳 美 智智 知音 ち 楓玉子子音風光子慧生苑澄泉子蓮希代子城葵霄扇泉燈子鳳里峯成竹扇照紗清沙螢夫虹采咲暉花景月渓虹竹彩洗琇琴泉春美子雪天霞震川晶扇 照備 // 玄 // 文 // 蒼石玄東 // 文新蒼備有 // 春有藏 // 新玄 // 有 // 国 // 松 // 新 // 蒼 // 蒼 // 柏 // 玄有八花 // 美 // 東巍 // 六美新 澤後 横化穹峯模和化城穹後象 玖象 城默 象 府 南 城 田 心 横象家南象 苑南 光山 会苑城											
照菖半小綠淨曉麗秀菖瑠芝直麗蘭佐妍ハ比麗京節節麗梅た永章麗麗 美景 朝陽雪麻香玲さ典浩蓮洞袖め祥希藤沙沙真啓道ふ健霞恭ふ干知晴 以ナ か 湧 厚 登 里 く ぐ み じ嘉 和珀里董風山麗爽麗月月華子節節子象ヨ彩湖節雨真吟秀子實敬陽竹 仙仙 花江川菜織笙ら子舟舟香み節紅花泉春弓風子え夫舟子枝子子美 茅磯 // 港東磯 // 北磯 // 北産八静綾妻南 // 長美折 // 錦御若妻 // 杉 // 玄若杉花玄 // 玄長 // 柏 // 玄 // 長國産文 // 有 // 野辺 南陽辺 府辺 府吉南 華科墨 翠苑原 黄牧竹科 黙竹 象心 默翠 心 黑翠府吉化象											
美葉玲蕉窓慶千葉美雅代葉頃千祥盈久春南樹咲景沙柏錦錦貞汀惜初紅無南賴齐禾耕静翠廣月天清越清響 綾旭五大孝紀景春秀有白照 惠 也 子曉窓苑心泉子苑草子美子明山景苑菊月恵瑤岳光光桜園泉葉雪月心春泉流双花山苑山章花峯性意天山玄光 子蓉福慶我翠光京桃月美麗好											
倚平 // 有柏蒲北若杉玄平国野 備心一東 // 濱 // 磯東 // 茅沙瀬土 // 東硯 // 碩 // 莽瀬富若源 // 中西志中桜右中碩 // 雲成 象心田府松丘 土奈竹 心成府邊後和絵陽 戸 辺陽 野羅戸曜 陽 雲 戸士松創 野 摩勢森文勢雲 秀秀 順信友静翰佳嘉千政快和か憧直和佑恒淳範菖益 祥竹草葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉江正峰千友蘭見江真輝欽泰多澄美一美肇澄悠鐘谿桂素松桂壯志 オ 陽 喜 恵 子一節節舟子子華一風子る光子夫美子子 紀亭 己心竹梢楓苑栄艸徑桂濤惠純弦羊梅月紹風理子造雄子子風穂子子華香榮沙香耀州菜舞一豊											

杉静瀬杉桜妻大柏葉霞曉綾	磯柏玄書自聖中平桜大靜有	新若瀬 游霧八 書映儀笠葉柏玄霞麗中董梶靜石志玄愛	新若東錦若 高サ東 戸 森科阪芳月墨月華準辺心默集産 野成森阪 象 城松戸 墓訪戸四集心辺原月芳樸墨墨野 友 峯摩嶽心 城松陽黃宮	高サ東 五段
吉赤弘媛奥春林成村桜臘久	段 井合礼熊淡碧尚明百松吉夕渡松和木小加周征新工段	谿映葉百三已白雪琴藤い関小菅倉湖絵摩川乘山菊竹	高香三 田澤 原 珠澤石井山 上葉 田 瀬田澤 辺下田内藤藤 倉藤 潤 井 原す根島原谷 本田田池前 宅 煌み子舟桜瑠怡衛愛晨智惠 葉詔山谿ある桜白靜節晴永麻日由五文光立和 彩祥蕉雅行芳め霞羽鐘み花静彰奏葉里紀佐蕙教錦梗 月織健	高香三 段
大八 大長	葉北須花麗葉 横大葉静 高八東正	玄文六京長大八玄 四巍静 葉静中宝柏野書珠櫻中書硯富高書有 墨書玄柏大	信中源映 阪戸 象野 月府坂象墨月 準森阪月 二風戸陽桂 黙化会都野象潮黙 谷山 準月 野春心辺之悠友野泉 貴風泉象 三洋泉成心阪 大勢創心	信中源映 ☆☆二
濱小水渋相知鈴伶白藤麗啓	段 湯伸真玉段 中野江樂南上節布和美久吉薰高渡貞長段	笛林祐綵榎梗半東鐘及真藍佐鎌吉	千須祥翰簾佐山桂岡映	千須祥翰簾佐山桂岡映
田笠 谷木 木木 田 佐井 本里 原田 保田 杉辺 谷 生玲々 本田 瑞川 孝上田 藤 久田 江 珠原煌濤美真敏那智花川子 坂珠子麻 楠裕次恵明花章舟恭代香田兎木景琇松川 芳奈木美舟淳翠知逕米翠理香美小節 波香苑舟玉間高邑笙	星☆二	笛林祐綵榎梗半東鐘及真藍佐鎌吉	千須祥翰簾佐山桂岡映	千須祥翰簾佐山桂岡映
笠桜柏珠こ	美柏六美 長富游 新伊 梶笠靜華長麗八桜有八 澄 瑞須頃 游伊京玄若 横中曉游等靜霞櫻葉笠大八若 柏六玄 葉中 原森芳悠の 1 二芳会菜 野士墨特 城奈 友原 雪野墨野森象潮特戸 桜坂雲 墓奈都嶽竹準友野月墨原 墓森月原阪戸竹初芳会嶽 月野	○○1 ○○2	☆初	☆☆
小鎌松津橋級	刈小羽千大中宮秋游級 川神林大柏市蒲華手高落田静仁 級名富欽神青黑中望相	浅翠原友石武神碧ま手山江柄	黒明華渡白山 川浦倉井田爪 辻出田嘉西島 鍋林か島崎川原 塚田合中 平川 澤 山木田野月原 野崎 井居子 す塚田戸澤 岩 辻井田 祥師才恭里 河友龍子葉智節代眞 麻桃お紗と沙美慧思倫江孤節賀 真琳智造禮由菜清憐 洋白曉子と典田空子希舞惠憐 完葉芋陽美榮	黒明華渡白山 段
曉す葉北玄宮巍美 港玄中之 晴八杉笠 紗サ笠藏戸 晴大游 球玄鏡大曉大榉大 静小大杉石こ八書こ 若須書信珠大 富有珠美	月山シ月府川心菜 7 南模黙野 月潮 原6 悠ノ原 南 月阪墨 5 迫戸戸黄阪月阪森阪 4 平の阪 崇の南之の 3 竹坂集大悠阪 2 壣象悠菜	○○ ○○ ○○ ○○ ○○ ○○	若須書信珠大 富有珠美	
姚伊杉善頌井美須藤級慶加心康後唐斉邀上級 豊保百閑窓林稻宗赤能一林齊岩藤木丸落段 佐鹿松妹紅唐高江翠清級 清本朝伊丸後級 坂歌半森山 登本 戸佐田本 藤 藤木藤 條 手坂瀬文 憶垣玉井 勢 製藤平下山合 塚島本尾 津橋 田 水多 藤口藤 齊 田霧口 波子陽一山坂子惠霽 予穂燈子瑞曉実月聖 璃貴恭子泉子昌榮游 葉枝香美真朱研強良 里未綾疊流由智慧幸晶 憧智子均莉田 和節菜千文	○○	○○	○○	○○
土 ツ ツ ツ ツ サ杉 大 ツ 静 高美秀月宮美 ツ 倭 玄杉新若 ツ 磨磯 ツ 北松瑞杉高若	筆 ノ 阪 山 風五雪 地二 心 城松 雲辺 府宇祥 風竹 五行	静 有 ツ 横 ツ 珠笠葉曉紅櫻松乙 北聖大 ツ 山段象訓森 悠原月月竹森代訓 8府 阪	北聖大 ツ 段級	北聖大 ツ 新新
友伊松節星娥熊田佳今長北清齋篠忠中鈴楨西 美青木小馥土酒穴宍指杉小友小柄段 書	武里藤田 野 野中 井塚藤兼藤田 野木田村忍 木内田 屋井戸戸坂本坂 林澤 江と眞舟早舟珠満鳳秀祥照美秀男真盛晴宏 佳響日由郁さ尚羌千恵伴美真極	栗位麗千永降立玉信古穴後下桐美佳級 凌桜岩阿 冬原不 濱幡川井田山倉藤垣原智 隆部 雅正明 阳春と宗茉杏陽和栄父美憲子扇 翠蘭和遙	凌桜岩阿 級	凌桜岩阿 新新
飯長葉皓大 ノ名 信玄 華土船倭須水平京 大綾霞覗 高月 秀玄宮龍八美秦座 ツ 花華 ツ 竿 扱土壁城平柏大 大こ柏横名飯光 華笠 田野月花象 東 大心四雪筆橋 坂代成都 阪瓦墨 風 雪燐地戸芙蓉野吉 の苑 原 筆友之彩成心象準版の心二東丘田 雪原	□□	栗位麗千永降立玉信古穴後下桐美佳級 凌桜岩阿 冬原不 濱幡川井田山倉藤垣原智 隆部 雅正明 阳春と宗茉杏陽和栄父美憲子扇 翠蘭和遙	凌桜岩阿 五	凌桜岩阿 新新
佐中鈴坂齋諫熊山越段 中小富榮幸中大田林小仮木佐中増川井藤牛工川小小松清北華古白宮和咲柏岸平夕綵久段 武橋合田大充鈴華梅理 々西木腰藤訪切久田川 々上村田澤野 野島中珠潤村孝奉木子口上林丸 藤名宮原本本村 田日沢 崎波島 保居 居爪葉島津 木 原木智敏儀美彩夢間高裕 み紗友昭智孔子恵紗影怜千佑早美裕君水典孝和夫弘子昭綾晶す輝和紅き美依と勇真佳舟田 弘里詔盛仲代詠華紗	○○	○○	○○	○○
美梶サ笠静光柏葉 大竹書 高玄倭 杉 ツ 新玄 ツ 秦座練柏 若中竹聖 中高國珠月 秀吉 成 玄 美桜沙小八文玄 船一平雅笠玄華静 菜友ノ原 丘芳月 象友泉 準風燐 城黙 野吉馬心 松野華 勢風府紅 雪祥 城 燐 二森羅光南化樸 橋葉成 原嶽雪	四	四	四	四
山浅丸歌赤酒成柴波少須段 久青沖長杉川重神添三栗一鉢田谷加中伊宮桂成岩保恒上田鉢八桑中原橋藤鳥柏湯富浅南節穴大菊響三原上望染玉 田野子田澤井澤峠谷口々藤 末木真南村鍋松林谷衫飯 木中遥藤谷藤下 田井谷吉田川木木田野誠立山部野田崎野真 原橋田 田口條月谷井 齋洋い円み秀衛修満夏木香 大清由玉和麻千挑勝テ原貴こ惠華昌美優美玉桂保緹櫻尚美納彩幸麻子親夏幸瑞坂則昇知舟義岳佳花篤佳聖清紀麻	四	四	四	四
玄 ツ 曹書一富 晴東水 聖竹 大北鐵玄有ハ 八 船 横書游 観信 ツ 横松中茅瀬練長玄志桜宮富美飯成秀 富霞唯錦 聖八房 大杉游 燐 雪泉絵貴 月根代 華 阪府辺黙 象南 橋 二泉墨 三扇大 二戸野戸馬翠心摩森地二山城 雪 貴墨心黃 南風 阪 墓	☆四	☆四	☆四	☆四
坂中内鍊宗竹藤阿久野南西柿笠伸向石高長小落伊神齊佐及長段 伊小古高熊金翠小磯吉大若鶴奥都刈掘諂佐鈴奥濱珠今齊坂宮新林齋岩後圓游 本西野上像之平部保野澤村沼 井井戸戸林合月谷藤川竹 敏藤田矢橋谷子 林村田池杉鉢原竹込静訪々木崎名 波藤野川保宰藤川藤 ゆ彩ま小手内通多彩亞奈有玉珠嘉千み智晴江晴明蕙江雅 珍明花辰光千白則じ真久強和終惠湖内木健と千惠裕美萌明利子雅真田和真	四	四	四	四
ハハ 笠八美 美小勝聖 星麗高曉 玄長美四姿玄中富紅新 ツ 秀大飯皓長 八 石中小皓大静 ツ 玄 華 笠八城六船神汀 玄志書玄倭 雪 原潮菜 苑平木 墓風月 心寿生 谷樺戸野竹城 雪象田花野戸準峯野光花象 雪 原潮彩会橋奈松 心摩集點	☆☆二	☆☆二	☆☆二	☆☆二
華秋鈴市山鈴藤中吉鹿田簗根高宇後成吉井南河高泉林湯米下松田竹鳥永塚北戸手江 戸金井林林武安本門士小石中清松高山松横山畠礼森 谷木川村木本原岡島部河村本田城藤田村向野合杉さ梨木坂垣沼井松越原中塚戸 嶺井上愛照居部間脇屋浦井川田井橋崎田本山本山 知 渢賢華沙優彩岳智未恭原光和倫利瑞陽美孝晨真景ら香瑠澤美美幹榮専小菜み文患患 翠笑和友子典ひ由里患祥和美真智美美湊加彩伊和山子	四	四	四	四
玄 ツ 美長 玄成神 ツ 船中富大成秀大美高玄八 倭 ツ 杉勝唯星富高中汀須覗小優長玄 練大四秀名菓飯千華笠雅 橫玄桜竹 橫秀柏 ツ 心 二寿 燐城奈 橋野生淀城雪阪那風燐潮流 準の 木心 貴風勢松坂扇平生寿樸 馬淀谷雪東月田曲雪原 二樺森華二二雪芳	二	二	二	二
加向稲今一桜高内大平本佐岩岸酒今宗松ス清下仁段 多古清後古上波北浦松田古岸宇岡虹松熊道藤稻未吉佐安森宮玉高赤高碧染 段宮柳黒齐小 藤井葉村 井戸野橋野間藤野本井國玉下ミ水枝平 山賀川野藤本久多藤田村鍋屋野田澤川山谷嘉見田原々藤田原井柳澤橋 谷 澤澤岩木暮 真美芽久瀬法牧由峻菜未早久真榮智ス弘峯賀 理谷節豈奉野舒恩リ清澄麗川利梨聰利正理千棕永木由由カ満峯真空教 帆円完祐華	二	二	二	二
ハ一観『書龍』優 小長桜玄小 爱珠柏有静龍『秀葉』柏玄笠『さ八練有玄石芙暎』大瑞 豪 サ秀若名靜笠珠八李 小杉勝竹漆硯曉 路 扇 集文 生 平翠森默平準心紅象山文 雪月 芳嶽原 わ戸馬象樺峯二月 阪祥 花初 シ 雪宮東 原悠潮光 葉平 木華	☆☆二	☆☆二	☆☆二	☆☆二
鈴森館宮岸小清楨大山藤中鑑平羽段 鬼朝北近栗中里宮相松真川手村阿野大加唐小稻岩落一安清段 平原松增渡蒲上津小原中中當片山竹樋三後 木慶澤巣千山水本中巒倉山十 原藤原村下澤井篠口塚山部里澤塚藤生垣崎合達水 山田本原邊原村田林敬里里間川崎田口谷 香子舞文秋田信紀瞳笑和正師加游 加日典節正萌浩莉才良啓希直紀次麻和穗由友昌和良す暁由 慶彩奈東琳美美恭陽二吾亮月精晶奈佳理文	二	二	二	二
飯北龍大右富有虹杉赤玄一秀 飯神華 文秀瀬 柏光靜 笠八 珠游さ八凜成 秀月葉柏倭 // 美玄飯成瑞文石灘北有秀備一柏乙有松竹 大 山府文阪土穂苑 石樸絵雪 山龍雪特化戸 芳丘 原潮 慕墨わ戸心城 雪 月芳 二燐山城祥化峯戸象雪後絵心訓代華 阪	○○2	○○2	○○2	○○2
西森小木津高山吉目一真平清湯押斉級 越吉竹羽友佐萩猿齊丸半豊嘉小岩豊横肥神福荻千福立穴林山重高小鈴安豊高中近関丸堀柳宮長福廣 澤詩倉下村橋下川黒下 壁松水本見藤 谷島川内田野藤原田藤口田田泉笠作倉田崎士原葉本川井百崎田村野木藤田橋西藤根山口澤山谷中 茉音尚研星大津久如枝佳天溝鈴広綾 信雅真良龍和里幸朱実莉菜悠茉原夏真源來沙幸千美麻加ゆ代葉陽美彩捷ち芽直美ア瑠寛奈夢友川訓千	二	二	二	二
大名平名大柏飯光華久東若 山華曉大中 一 ツ 笠名 高北李 東珠士一船八凜若文東倭高月大玄中書霞 文瑞大神 // 笠大北横晴溪 田東成東象田丘雪喜根松1 愛雪月井野 路 原東 風府光 光悠筆絵橋戸心竹化根 風 淀耀央集墨特化祥内龍 原象府二美月	○○2	○○2	○○2	○○2
山松広大阿平高北間松川級 鈴鈴塘池烟一佐手林鉢輪村蛭山宮小複奥大山加中田菊小尾兒長北松石村阿河小級 三眼山松小唐牛筋細鈴田酒山 田本滝津部井子櫛庭澤島 谷木木田美糸藤塚能森木山川田川島本山場子崎藤村名地山崎王濱藤本川田部野林 藤部本尾林澤山田木辺井崎 里水文彩麻尚祐博未幸郁 紀心曉患佑ひ喫麻沽祐成由愛優真夢患る照璃ひ杏喜部拓愛光寛孔宗ナ智洋泰士由 久桃患朋由日真真真瑞患摩杏	二	二	二	二

華水一青若有水凜"若志玄四玄船蒲杉乙石一"大晏"大秀倭樺一李平文"書士"笠" "華光名中光若 笠城高李秀成大" "船竹一" 中東若倚 雪代路雲松穗代心 松摩心谷心橋田月訓峯絵 阪墨 淀雪 森葉光成化 之筆 原 雪丘東央丘宮 2原彩社光雪城淀 橋華路 野根松雲
○○○
石柴安下村松白鈴古池大石渡安渡神佐藤柵安今岡米大正門 田根園宇安閑半森安中鈴李須小阿水北級大浜深吉常酒岩出工笠湯磯田古青佐宇 戸田築原松永鳥木賀田西毛辺部辺澤々本原藤井本倉熊體間豪中岸真角部戸田舞藤畠木奈田野部野爪 橋田海田田井澤口藤原澤部中田柳藤野 恵ま岡國美梅里紗仁彩麻ひ琇真歩未木厚文楓惠紗節信奈翔 孤涼知す美結輝元花す麻友菜千聰乃靖む 翔郁芳佑彗信由陽千芽洋浩真福裕真育
硯大中映光倚游中 紅北若雅書和" "笠" "土" "サ高大東千華光柏宇大富水練若備北杉紅松柏玄船須" "茜竹秀奈玄蒼倭優有文杉小和久成 扇阪野心丘雲墨央 4竹府宮 之 原 筆 ン風阪陽曲雪丘芳上象土代馬 宮後府 戸竹心黙坂 沢雪華樓穹 生象化 光 喜城 3 ○○○○
本妹徳山文伏大清松林森咲白加大倉南井保杉川海井長村岩寺北古今水宮城須柳表野湯杉内梅大松青栗坂佐所胡北岡中大吉寺石佐今川中級 田尾竹野田子野 水嶋万田川崎藤和嶋部教坂本崎津田澤立島岡川井野本戸武昇田本木堀津城本木田口藤健内川野村島田脇川藤惠鍋村 陽陸凜夏未武友夏 洋海寿玲凜きこ美ひみ浩貴陽彩句愛真智明清実遙郁一真颶幸和我三春樹沙乃凜那暉果愛李斗正深美成碧節浩友威美裕由
和大 有み正珠石成高宮皓山大若"杉" 大李華"光柏一游飯産 中北花笠土美中晴大高珠吉成国長樺練"杉産"船杉竹" "宝富藏柏北横 井 6穂な桂紅峯城社地花愛阪松 手光雪 丘芳葉墨田吉 5野府蓮原筆那央美手社樺紅洋城府寿森馬 吉 橋月華 春土 芳府二 ○○○
奥永級大上今未梅豊上川林大村東成根藤藤本石城須中吉田渡長級小鍋大百佐中坂石伊湯南彩上宮小羽丸澤熊根大工吉柴佐本土門古鈴関小渡松 田原 石田井 崎原野田さ櫻田岡瀬津田多田田澤浦村邊美 林島森瀬藤村本澤藤本紗 野脇原石山田坂津村藤野田藤城屋田木本文林部崎 圭み 慈美患沙哲瑠は貞え茂連胡明美佳希難真歩亥碧由愛佐 彩誠が恭添高良理友愛英沙水一美幸強拓吳浩し飄舜莉美柚遥千響禮子洋祐薰
み光美凜大北中倭宇" "光" 杉若竹み産濂有み美 若杉八静優光長杉若杉八書干華玄土練" "富" " "石み玄大杉竹た" 中暁右太瀬ひ中八 な丘森心手府野 土 丘 松華な吉心象な苑 7松 戸 丘澤寿 潤 潮之曲雪獄筆馬 士 峯な心田 華け 野月文野戸央潮 ○○○
嶋須渡圓三丸高味岩川湯松柳上三亀村濱闊度岩乾級杉千山松古片中野谷小岩柳山今小伊金三池玉大阪中浦小小中原小長小川姚澤飯幡廣豊峯 原田辺道輪山山原岡口下本下杉沢井松田根邊住聖 松山葉澤賀庭野崎美林田岡下井林藤井原川木竹田村野泉池島 林谷高上 村嶋沢瀬田岸 舞明寿朱桂暁富京園雄並直昂美一七満純莉橙佐子 七知文佐美大朋智美葉幸記奈紗直礼桃塚紀琴美亞容直衣典茱咲候優川大螢波琴洋和俊真真
秀光北新"杉碩" "杉麗笠美書珠柏李殊暉" "光" 茅曉柏若水若皓有奈八"上" "星宝成" "秋秀杜松上" "杜有皓杜 中名杉八大" "ひ光" 雪丘府城 雲 墓原菜之悠芳光悠華 丘 野月扇心松代宮花穗華潮 尾 春城 川雪会聲尾 会象花会 8野東 戸手 ま丘 ○○○○○○○○○○ 新新新
井竹小藤小岩唐吉小篠柿和小門浅笠永玉大藤立大西阿真赤畠橋佐新小半水ニ夏秋大北安安長佐茂外所松福長泉益三大中級田伊杉西玉百小中泰 上澤牧原林崎沢村柳原岡崎賀田倉田原峰井沢川澤田部道掘山本藤掘澤田山 山元角村藤蘿山藤屋鉢雅澤永谷水田宅坪山 川藤浦野井瀬林村喜 桃芽由茉有喜と眞れあ留井志奈佐海杏一と茉順媛杏陸景智和美優か正有シ未直地丘患勝美公奈叶玖歎則舞散文か千正 彩誠香詩まま史芹代
倭み瑞新" "北中右須富大" " "名" 土虹土杉珠一月" "名" 高虹高" 照珠玄美ひ" "小乙大静一笠土霞若半綾華一華 美" 樊光芒" 華千美" な祥城 府野文坂貴阪 東 筆苑筆 紅絵 東 社友社 澤紅黙菜ま 光訓淀翠絵原筆墨松田華雪路雪 二 森二丘 雪曲二
深森津加高中石久工中閑菊前笠山松須大石萩江小青鈴忍高木坂北小岩百余美森八高石曾永小星加三鈴平川福松齋菊尾星降桐堀千畔星中臨李 川田秋煙野谷田藤保尾谷地野田村永 尾崎尾嶺脚 木足須下田原戶井松林 沢田代林橋我川佳澤蒲木塚島山本井藤地崎野幡原内葉柳雄汎山知 穂更真日理夏又文若復嚴里翔純泰千知り朋涼雷空麻友亮千真春ち早直友幸幸裕虎奏部和さ奈潤峰啓沙実美美佑ひ麻裕妙宗憲淳月智斗愛幸午
港東"磯" " " " " 北高富大北磯宝八若游杉玄玄嵐横静杉 長秋静秋 大間" " "若" " "綾草山青" " " " " 笠華" " " " " 船玄" " " 龍玄船 南根 辺 府風貴阪府辺春戸松墨 燐樺山二 五 五 五 頭 題 野川 川課阪野 竹 華 愛雲 原雪 橋黙 文黙橋
窓齋能古吉登指宍斎俊後代閑森谷糸赤宮橋太增小玉青 段名 宮松鈴坂運 山間茜士小飯田山寺岩池丸中三宮三塩上許佐川菊加渡神堀金羽 藤勢屋希富志田戸戸 中 弘尚地田井入立田井木本 島木本い 田野 屋林田中本田田山田溝原村原條馨竹崎田藤部長江田田 泉由葉葉子慶子患羌千風瑛満子子美春芭游社親荷久明麻響
横松構八玄大杉倭 一" " " " 新"蒲柏石美虹宮和李六 美霧" " " " サ玄笠久" " " " 華" " 光長樺葉皓" 大茅碩若宮" 美倭杉四若座殊大國錦静青 二聲二戸黙象 準絵 城 田心峯二友地 光会 菩提 ン嶽原喜 雪 丘野森月花 阪野雲松川 生 谷竹吉紅淀府黃山雲 ○五
田武高工天久吉沖段礼木松た染松合野鈴滌中大幸布大小丸節友星伊松士百中華小星華由鈴油百村岡田熊小文弓井織清楨茂光相萌珠武細須今馬 島島木橋藤 保田真 内下か谷本葉澤木瀬野森 田島張山 里野藤田 澄谷林野 香木科瀬石田中野林 削戸戸水木木 原 内野江井場 盛ミ辰和性田煌由 田子日永子浩佳誂高盛響真淳江恭紗真皇舟江早と眞鳳雅美華瓦詠リ裕ま白愛み彭珠則江千坂晨川靖篁瑛童禾水秀伝錦秀い
柏游六八雅笠" " 華光靜大名" こ玄糸玄美杉游富志石樺横葉錦書" 中玄汀高" 大倭樺有" 8ア玄産珠秀玄美柏杉宮花京城書玄葉大瑞有 心墨会潮 原 雪丘 象東 の 横耀二 墓貴摩峯友二 四月樺黄集 勢心松風 阪 森象 南黙竹吉紅雪心蓉心 地苑都彩之巖野月象祥象 ○□
田長松鈴原宮華染本友赤小敦橋松杉穴原鳥長游安倉柏熊段柴川菊昌桂成越明佐武林小湯白落南賴清遠珠甘坪川綵鈴牛北中平岸松寺鈴泊名歌 中竹井木口沢 谷間野澤口 爪木本村原誠部南 谷崎崎谷 嶋池山 田川 孝居珠田田 合真 水峰 中内名 木丸村野波澤島木谷 惠雅智彩佳き輝紀由和み夏子里綾和義子幸玉真夫奏翠と光 修か錦和玉桂裕美弘怡昭坂麗江知山憧楓惠廣舟蘭和す恵真勇翠ゆ敏壽琳節
龍東富大中信若練倭小文玄珠三コ四船玄静" 玄美宮綾静竹星麗" " " " 横杉四竹高美書横畫横八 サ有" " 横水勝研沙港瀬高富大若長文秀 長野 文根貴阪野大松馬 平化黙紅池の谷橋樺翠 燐二地華山華 墓 二 谷友風葉泉二泉二戸準象 二代木 羅南戸風貴阪松寿化雪 翠辺 ○四
久奥松翠佐谷吉森岸生月恒渓清竹神虻伊藤坂刈都小長理根高牧鉢佐齊圓渡佐中森及古鑑赤江段平永高宮柴山木富廣磯小濱伸加柴節井中大楓 彩保岐田 久通田知野野 吉 田下谷川勢山込辻陶測 本田野木藤藤籠辺々本霧川矢上澤戸 山井柳澤田崎村崎 村林名 藤寿 上島池本 多と司白間華真子澄麗性櫻風晶惠美梨巣夏ゆ湖恵千祥香和倫博瑞江蕙と秀木千翠花小峯惠 庆麗滿帆祝晶早則子ち貞千珠昌雅舟典久淳
さ四文聖玄 有四秀 新小和雅八玄" " " 笠華" " 長" " 柏" " 静皓大松玄石玄美星青瀬高中美様 新八華桜優 笠新美八士笠" " 華飯柏皓大須" " 晓 わ谷化 燐 準象谷雪 城平 潮嶺 原雪 野 芳 花象戸樺峯燐 二 雲戸戸風森生 三原城菜潮筆原 雪田芳花象坂 月 ☆☆☆☆△
豊圭越賓下段 小高鈴一重鹿松玉倉望山上石市森中手真黒蒲武田林金泉唐櫻柏上孝吉北中鈴奥尾神小齐碧宇段上川大中亞歌華門完成坂齋富藤阿 泉 谷河枝 林木ノ松島本井 月村村井田西塚猿岳原居中照子さ津井野久 川藤谷木原岡崎笠藤田 條橋橋川利田 臨 澤腰藤澤平部 茉朋信原峯 晴景納瀬千未孝カ子清優美和沙由智惠良完美典文子千ら由法瑞保子真照美久絆由桃原綾空川 聖麻禱美沙円溪里碩衛儀美智朱遥
長柏秀小さ李信中土" " 華高柏足平 晚倭英勝磯富" 大中富八秀愛紅信八梶静葉錦書笠柏小硯 玄書こ勝一玄瀬高中頑長有和珠サ" 笠光飯水杉 寿心雪平わ光大央筆 雪社芳羽成準月 二木辺貴 阪野土南雪心竹大潮友 月黄集原芳平扁 十模集の木路心戸風野雲寿象 悠ソ 原丘田代 ☆☆☆☆☆
寿北田當阿原伊阿絵小深羽真章段 小高鈴後石竹後廣金米畔稻兔下山小浅佐福齊岸猿竹山古段高小多田一雅安清湯土寿近田津丸村手高勝水六 原川間部敬藤部 木暮海田 嶋山葉藤井の藤中井田上見十垣田林野藤士藤千田内中屋 橋山賀部糸 藤兼本屋 藤島田子山塚櫛 野波 星典美月紀二均泰美祐華美龍希佳 曜理芽豊千内田千笑瀬美千加美高陽洋里幸美秋朱良笑緑 真田谷恭ひ子ち実瑠さ香節静哉い由希裕江彩羅
" 笠千久" " 華柏" " 笠玄富杉紅土杉長柏 晏瑞有一書曉瀬大小中富倭優" 大美" " 杉平" " 笠葉皓" " 八優若乙北" " 倭光長" " 柏皓大若神玄" " 晓中大" " 原曲喜 雪芳 原燭土 竹筆 莘芳準墨洋穗路集月戸戸阪平野土 生 淀二 成 原月花潮生松訓府初 丘野 芳花象宮龍櫻 月勢阪 ☆☆☆☆☆
小牛安桜中北松小百村高目塙川吉中平段 小米柳鈴河後林宗羽佐鈴河榎岸道立清野長佐唐手吉清吉齊大池崩向段千酒宮上荻林塚増松一唐鈴浦岩寿 林山藤 畑澤井浦瀬橋黒明上村條井 倉坂澤木野藤梨玉山藤木合本喜川野田戸藤澤塚原水藤島田口井 葉井島條原愛越原尾 木垣田崎 由真由嵐麻博才祥恭洋真久子紗真正尚 節実夢香土文香栄游未禮真紀早正加草三智信日麻永由美瞳彩乃嘉 美秀節和千友菜東朋枝暁昌惠和敬

□は写真版（昇級しない）○は昇級（1階級昇級する）☆は秀作（同段位で二回とると昇段する。ただし師範部は除く。）

秀備笠雅	倚	「大有赤」美秀さ和大珠玄	「笠小名北磯石秀四柏秀若梓 倚硯竹一硯須曉」	高	「大湊若富」玄石玄	「美八小晴葉珠東雪後原	特雲 阪井穂石 二雪わ 手悠嶽	原平東府辺峯雪谷心雪松森 特雲扇華路	坂月 風 阪 松土 櫻峯燐	二戸光美月悠光
○ ○ ○ ○ 1			○ ○ 2							
横柳倉森	級宇岩福池松宮向福今村伊丸川森藤林鈴藤大豊酒櫛有千丸伊村鑑	級伏宮柿花三田林岩川宮落妹今撻古岩加南鈴林穴小田淺田相半奥倉武鷗田	野田田永下井本國山惠藤口口舞森能木井津田井原田葉山松倉	田嶋沼 谷鍋慎井崎川合尾井口賀野藤紗木百井出名野辺澤田山源和ひ玲	育真訓恵梅如美麻真直友丽啓花祐活成和伸芽尚文菊和観秀美師	武文有天理隆子保彩真良睦佳仁楽穂英捷代ゆ友部昇恵ま菜る				
唯有映和サハ	華光サハ大山玄	秀成若東	若倭秀高唯一玄三一美名八東美一秀奈秀桜笠虹神竹	若大備北若霞一大珠	笠光硯乙文秀倭東心穂心	シ 雪丘ン象象愛樸	雪城宮根2宮 雪風心路心池葉菜東潮光那葉雪華雪森原苑龍華	1竹淀内後府松墨路手悠	原丘 訓化雪	根
○ ○ ○ ○ ○			○ ○ ○ ○ ○							
古山山白保李今須頃吉阿大北平松中北堺	級須柳清今佐成ラ吉藤謙峯大ス根里胡肥田大吉押松	級小石山近細川桜森藤奥安加岩館藤三田長青本下田崎坂奈糸田本田部櫻川松本村爪玉	田豪澤水浪藤田 浦本訪岸場	○岸川内田中橋川見谷 山川本藤田島井慶田手藤立澤本藤浜柳	喜大夏き貴菜直千歩陽節麻茂深天奈由む寛 幸 円弘裕暎日碧霽彩真照ス涼洪正来孤翔淳廣教	愛智幸ア真郁晨子美璃すこ明舞厚久幹孔裕				
華柏若華中游杉秀桜	右柏藏 若大柏松蒲秀珠大倭	「北須茅」若大名光華久中和若游美中笠光汀北杉秀文	秀高大石み秀練富東雪芳宮雪央墨 雪森文	4松象心戶田雪紅淀 府坂野 松 阪 東丘雪喜央	松墨苑央原丘松府 雪化3雪社 淀峯な雪馬士根		○ ○ ○ ○ ○			
鈴寺林石坂田石川丸津澤山関	谷古内杉神鳥未大松小鍋松赤東村岡木末熊文鈴川奥佐金吉豊大水作森小内安級佐上正岩阪中上兒原白玉松木島万戸本村川口山村村田文 美川堀本澤井 熊澤島鳥嶋本堀岡松本下田切野木鍋部田藤子岡和野森詩林野部	々野體澤田村田島田澤木澤華清寿恵幹由友水強星琴靖子 葉遥沙樹麻優信沙宣海天夢歌那景日虎七紗研夢未友裕乃主友智真美靖	音幸ま美木ほな由容直美雅彩美美							
み杉高倭秀	秀曉秀八中若高有宝晩北照所飯大皓晴光柏大產石杜星高富	光杉國宮奈杉み秀大 宝大笠玄一杉秀	華横北志大高	宝倭中八玄な社 7雪月戸戸野松風穂春月府澤雪山花美丘芳象吉峯会	風土6丘月府地華な雪阪春手原心路	雪5雪二 府摩阪風春 央禪獄	○ ○ ○ ○			
鷗湯味級	永富竹千古久大吉抜植片門恵三林石中小稻長大泉安山池	級城杉小川夏野小中村長土藤浅松安原常	級鈴松若若大海宇門本中平岩小原崎本原	松山澤葉田沢末石田 野庭間美輪さ澤村林田美竹水藤田川田	原田山崎泉西山田屋田本業	木崎月月西津城田城村野田林舞留惠京 小智栄文華一大慈響波光明翔子桂え理岸洋真佐ア散勝倭琴	真咲美真未典美連美遥佳奈加岡恵彗	心薰ア千麻旬利千袖成夏記礼		
小「華山小右」上桜秋	「美秀茅硯観皓李	「珠八」光北	「秀上有高静美虹富秀若八大唯松水大華宇千龍」	「杜」高光	雪愛光文 尾森川	二 雪野 扇 花光 悠潮	丘府 雪尾象2社	苑友雪松戸井心代手雪土曲文	会風	
○ ○ ○ ○ ○			○ ○ ○ ○ ○				○ ○ ○ ○ ○ ○ ○			
曾菊松岩石	中長北桐茂星脇崩所井竹真小本大水石立玉信秋松阿小西千古丸所沖藤小大渡	級小鈴松岩三宮新西永聰宮柴玉星北山信中松益北北秦我地井田橋尾谷村原泉野山内健上澤道泉田坪松川井田元本部林田葉賀山雅山原牧角邊	坂木下戸原下掘野原 山田井雄岡下	山澤田藤藤喜部麻佑美葵若舞姫	喜妙幸淳斗桃芽陸志陽千有美菴杏陽直杏有媛月大暁秋菜葉由地橙	早ぞ智ち紀莉優詩み子友さま斗美紗夫正恩文宗静代				
光笠	倭秀美船有紅水	「若大瀬北さ若李」 サ雅「六巍若	産秋	「「笠喰照大珠文乙新」	若北碩大若中「	茜丘原準雪墨 橋象竹代	松阪府わ宮宮	会山竹五硬	吉川課題	原澤淀紅化訓城 竹府雲阪松野
五	段	筆	大坂達	三宮上三塙深小百小彩尾永加土小茜渡輝前川田青栗坂	大坂達	三宮上三塙深小百小彩尾永加土小茜渡輝前川田青栗坂	坂本村い溝原條原川原川林瀬川崎演畑屋林部	坂本村い溝原條原川原川林瀬川崎演畑屋林部	坂本村い溝原條原川原川林瀬川崎演畑屋林部	坂本村い溝原條原川原川林瀬川崎演畑屋林部
加百段	楨有吉照大飯中降植弓乘田水小清竹坂星伊松友清松布須須	田原前田中野野野前井野藤田里永井田原	田原前田中野野野前井野藤田里永井田原	香希	杏香希	杏香希	杏香希	杏香希	杏香希	杏香希
政雅	靖菊子哲岳裕麗美雪浩干憲滿勝美内桐梗京早と眞江雅智恭蕙心									
「秀倭飯游葉有長名さ光」	華大若「練勝有御若船	倭光華杉東信若練勝新杉四	若玄「玄石秀」	御書霧須聖野宵船玄石倭美飯静	名大皓魏雪	田墨月象野東わ丘 雪阪松	馬木象牧竹橋准	丘雪 根大松馬木城 谷 竹黙	樺峯雪 牧之訪四坂	辺月橋樺峯 生田 東象花山
四										
田甘森吉青鈴永杏丸友染門林谷鈴世後小貞柄菊段	斎酒土暁秋佐加吉山和明高戸相高	川野篠貞鐘翠舒段	富宮祿佐中濱菅冲森三静謙熊島清川中知川木木井	山野谷脇珠遙木古藤林 澤田 山井屋 久藤田崎田 杉原原橋麗田澤田	澤下本田村原真晨和	訪切千田美恵子成由敏麗靜子正和紀里怜華	豊貴晴泉憧佳 理恵想汀河間昌晶彩光景碧憧み	美高秀翠洞幸山 智美淳瑠友縁影由英玉秀彩夢春み茜		
四長勝	華美游練大茅若八小 小倭若「船美聖一瀬磯華珠季和溪皓名長雅確聖名玄	石城サ玄正御聖麗長中玄大瀬	「華光京小游 槌	谷翠木 雪那墨馬阪野竹潮平二平駒橋	東模準峯サン構桂樸	墨野勢心阪戸 雪丘都平	墨森三	☆☆	☆☆	☆☆
五	段	筆	杉清平川花穴豊宮高富桂伯伸磯華華齊鈴中山大神	池部間田ミ竹谷田 藤井 澤	崎田山田原川田	木木中島山 沢上	稻垣千峰義弘蘭靜玉舟珠ち輝溪祐恵笑禮暉典			
光大田本森ス長熊濱冠齊藤	木長真高神川坂一林酒秋半幸松酒渡美玉井西末泉	段	杉清平川花穴豊宮高富桂伯伸磯華華齊鈴中山大神	水	田原川田	木木中島山 沢上				
瑛久	由ス雅利珠道実和華孔花美萌弘ひ香尚賀菜江孝摩友琳香カ葉余凜ら									
美秀嵐愛	船若四凜富小右龍	大湊華一さ皓大珠雅名若文秀	雅華國船美松新四練矛龍濱サ李和葉珠大玄秀美	倭練聖富美倭石	「船神	準二雪山心 橋竹谷心士川文	阪戸戸雪葉わ花象悠 東松化雪初	雪府橋二戸城谷馬野文	ノン光月	月悠阪樺雪生準馬貴生峯
准	初									
段	柏兒増鬼渡工小藤岩玉流津小廣後藤伊安伊阿田塚丸森松池爽横段	原中前本稻金渡竹白峰清景丸原今知奥松一宮鈴段	齐松南小織千唐平大伊内	野島井十辺藤山井佐木 村倉中藤森藤部藤部中越口戸本田	口烟山間葉子辺下澤	水子敬惠 手田下木 山山澤戸葉津野橋月野	瑞雅弥加步千愛理夏美渓星尚千田皓道ヒ直紀文菜莉玲水彩節源	佳麻景彩芽千晴恵麻弦信秀い二美真璃司枝莉久	愛聰亞清晨美由茱峻晴由	
大松有富中秀竹華	飯晴榜飯城一光小優「高飯秀紅」	秀嵐石房「船新唯「若竹玄山」」	大瀬ノ「笠美和光さ若静書」	山珠大倭高山	阪代穗土勢雪華特	山美森山彩葉丘平生 杜山雪竹	雪山峯風 橋城心 松華樺心愛	阪戸雪 原菜 丘わ宮之	愛悠阪	社愛
○ ○ 2										
岡宮柳岩浦鈴伊石	級山田湯浜吉城鹿宇深上清平下松常田増鈴壺中出陽今村川柿嶺越大落妹福安吉鈴小齊小久森田須村増佐関長紹津宗	本山澤野田木藤田 嶺中本丰田浦田島野水松垣本田沼井木 村口登浪松島沼 川根合尾田藤川木暮藤口 露島田山原藤戸井谷田玉豪本井紗父夢樂恵納逸雛	天孤鶴碧眞未川美は満天美奈恵幹久捷登喜江裕美都有花裕良茂良庭詠千静恵麻弦信秀い二美真璃司枝莉久	愛聰亞清晨美由茱峻晴由						
蔵	「富」綾「若大サ華光」	美照石久若霞 折船飯干大光長秀右暁和曉と曉練李	書サ和飯葉花光千照富大瀬北唯若映	秀優名硯暁東	光秀船士	華松手雪丘二澤峯喜松墨1原橋山曲阪丘野雪阪文月	墨華光特之	月運丘曲澤貴阪戸府心松心	雪生東	月光丘雪橋
			○ ○ 1							
梅高三	小絵片東藤保星松穴刈川中佐小級	柏笠西長木須晃稲岩里澤稻白游照園	段	咲杏山大敏山中山山照波黒加渡古山鳥肥大三唐ふ古文原	橋原演梨松岡坂雄本井込町村藤林 原澤下田	見村川村追崎	真川本森崎内村下 多木藤部本質田井田崎津谷木賀野田藤秀真紀子	葉茅初研歩静千真浩琴昌き真美知	凜陽淳葉子珠芹紗好野花富祐恵仁夏復来瞳理暁え大未彩颯	
書珠千	「光龍紅東優」	秀石乙み練國産李珠華珠千	名松皓石皓上秀若龍上若名	美照秀	「船國嵐富若美倭有和東石名中」	秀文有富之悠曲 丘文竹陽生	雪峯訓マ馬府吉光悠雪悠曲 東代花峯花尾雪松文尾東	3二澤雪 橋府心士松二象	光峯東央2	雪化象貴
			○ ○ ○							
柳信長	西千小石湯井大藤竹冲井佐大永嶋宮景秀吉立菊玉中山笠美大浦水大川川堀長北高級	立照柳吉大芝関池三福中近奥三阪小坂	伊今三石濱岡	田澤野田葉林田本丰田浦原澤山上々竹瀧原本	田川地井沢田野口角島江谷爪須川 澤野城景根川沢本村藤田宅田野本	庭國藤田名	奈陽真媛月有小春愛碧茉芽菜桃木亞和舞真仙娘辰麻杏愛純翔子千衣有地水実友舞む亮	加和円舜漢泉莉琴一麻成節主健容聰幹	秀貞久結千	
東皓水	秀み練聖「華麗 照綾千四」	名李秀湊紅上成秀船松船玄華秀船	秀葉照秀珠	「若倭大瀬右」	西茅茜茅大光高	小若高光名若晴東6光花代雪な馬	雪墨5澤華曲谷 東光雪	竹尾城雪橋戸橋默雪雪橋4雪月澤雪紅	竹	阪戸文野象丘社
級	奥林小内森松山鉛門級	小松富美松木石中妙高北諫門佐大桑林森石中加級	所柒百小珠土西小深海藤中栗坂真青赤古坂石曾小岩伊林石大山さ澤野田田崎木柳倉林本山	村下下松西	橋村訪間竹本田戸西藤雅崎瀧牧	屋林川津泽尾田口道木掘川部田橋我田坂立藤万澤場るえかま更雄理友智奈 直美果朋泰暖千美美仙久匠内翔健樹圭幸恵彩広	玖修友由雲璃	楓德旬和若果愛陸暉景遙杏真姫部幸早明誠寿理照		

支部別の発表です。個人出品は「その他」として巻末にあります。

芙蓉第一
 芙蓉第五
 平成・春
 房風会・星
 前原・松
 松戸・三池
 水代・美苑
 五月
 美菜・美那
 渋
 みなみ野・峰
 宮川・高地
 雅
 御代田
 名東・めぐみ
 杜の会・八潮
 徳
 有象
 有德
 優生
 右文
 好野
 横浜第一
 李光・龍文

1 準特準準準	7 8 7 5 1 初	7 5 3 5 1 特 4 2 1 特準準四五準準三	〃 準準七 1 二 六 準	3 5 1 6 1 二 準四準準特	特 芙
中二一三四八	宝級級級段	中上上中上 1 下上下 1 二三段段四六二段	五六段級段段八	平級△ 中上上上段四段七八	待 蓉
○☆ 春	○○○○○☆ 硬	○ ○	☆	毛成○硬	○☆ 囫
花西坂鈴高土	支野栗佐竹早宮筆	源蟹西石白源野山栗佐竹早星林宮名野金	樋道宮三源竹津林星渡	筆支古筆玉下古下玉渡深熊唐齋玉	筆五尾秋秋
川田木橋屋部口	原藤内川川▼閑澤達川石門口原藤内川見果川取城刺湊口端川浦関谷久早見辺▼部	後▼川田後田川辺津宮川藤川▼支嶺元光	部	部	部
陽翔芽心佑智	香は煌彩実友 天悠矢結陽香蒼は煌彩実結歩友袖美由	涼葉大航葵美那愛咲	光 緑嘉光凍み伽結秀楓可小	部	部
8 6 準 5	〃 3 準	〃 4 準初準六五六	8 4 3 2 3 2 8	8 7 8 8 2 特準四準	6 〃 準準三準準七六特
中 中初中	上四 段六五段六段段	△松級△中下上上下級	前級△下上上 1 二段五	△星○	7 2 6 2 1 準 1 三五
○○○○	○	毛戶○硬	毛原新○新	毛支	房上二五段四七段待
林田米西津少小高春竹野杉風野筆	支吉島三島一岩八蜂支吉高筆	高島遠渡高真高橋	長林杉瀬西小瀬林長	會	風
千中倉谷久々林坪木田島山谷村島本間山▼部果	木崎橋井木果▼部砂木	砂木本藤結砂	本坂木田本木田谷田田部	部	山知本戸田菅芦由山
佳美萌袖井木礼心紗蒼姫純結桃蒼華楓静疏	愛 健恭由楓祐愛	海萌 海萌野梶衣結美	心幹勇旦美奏隼川風琶	部	結翔智口美仁口翔廉
3 2 特二準準四五準	特 1 特準特六	5 8 6 6 8 / 4 準	8 特 8 4 6 2 三 3 準四五	7 7 準準初準五	8 7 6 8
中上 2 段三三四段六	美 2 中 1 二 2 段	段五級級中上 下四	△美級△中下中段級三段	水中上二初段四段	六段段三級級
○ ☆ 囫	毛菜○	月新○新	△新	毛代○	下下
野三鍊閑石竹龍閨内	筆支鳥梅江障井鴨支吉石筆吉乾小石三吉松支青	白刀倉青刀塩青藤支吉塚中別小別行塚中山中支小林	筆藤小	池新○硬	藤小
呂井田原林ひ根海	野海津野子口田部岡原▼岡	林原宅岡下▼部科柳	科鳥根科柳根原柳牧	部	山本山宮當武本山本山部林千▼原林
惟美明萌春か嘉早	桜接誠澤実栄美	弘昌昌走勇弘栄英道	実 2 実かすいこ幸そゆ幸	星大こ愛楓駆悠涼隼茜英七	佳佳珠佳
4 3 1 特準四・準四・準準準準準	4 7 7 7 7 7 7 7	8 準	特四六△ 1 準準四 3 準五	特六七	6 2 8 8 7 6 準 5
中下上 1 二 段 二 段五	四六七八七	段八	△ [△] 漢△下三段上三級四	六段七待六待	中下中中中初上
○○○☆	☆☆	毛支	毛那○☆硬	毛那○☆硬	○
今金五上横增小山小鷲笠守藤田春笠小宮折春笠五務務	田藤上花古筆部	鶴萩八筆△八石萩井澗山鶴原柳湯跡八井八高筆支山内	角三加山大柳上佐	毛み○☆☆☆硬	毛み○☆☆☆硬
井井十條澤林田沢	原屋澤村山原内川井山原十台村條森木岡	田野代▼代井伊谷田田颯野川部代伊代橋	部崎海	金増笠五筆	金山上佐
結遼川樹花希愛袖美実結奈心琴優美英理初菜葵靜川峻敦濱亞靖信優	唯悠美	希瑞優菜紅ゆ	唯汰悠慎涼美彩步真	優早	菜七理優未梨侑間
2 2 初・準二準準四準準	8 5 〃 4 初	8 8 7 8 7 6 6 5	4 〃 〃 4 〃 〃 3 〃 3 1 特 7 2 1 特準初準	2 〃 準準	4 5 6
下 段 四段三四段七八	△級級級級段	△下上上下下上中下上 中	上 下下中下中級級二 初段三	△な級二五△	中下上
☆☆	☆☆	毛支	毛野金增笠五筆	毛野金增笠五筆	金山上佐
渡齋高上渡齋度小小高平筆部	山渡加内筆新山桑吉川菅宮村金嶋渡植田木吉山糠坂森宮長加西石内菅管助唐山山金坂	鶴田代井伊谷田田颯野川部代伊代橋	田井藤崎澤田原久	瑞希結川	瑞希結川
邊藤橋島近緒藤辺川柴橋野▼	下辺山藤田▼井下原村口川松子原辺山村村口口信本田川谷藤川田久原川口岡子本▼支	并澤原十▼井田條藤	田井藤崎澤田原久	瑞希結川	瑞浩柚明
瑠花微千反拓虹綾若夢優楓	結美麻響樹	翔結虎樹小那果ひ倅玲美麻康朋胡枝優麗朔陽川譽凌鼓樹陽保唯峻楓凌葵	立け幸銳み遥大あか梨秀祐	桃天つ柚下明虹	瑞浩柚明
1 2 〃 準特七	7 8 7 3	8 8 7 8 3 2 8	準準四準四準準四準四準準六準準四六準	4 準準初準二 準準準準四初	2 1 特初準準準
下上 4 2 段	御級級級段	△下中下中下中上二四段五段	△七八四段段八	△初段四段五	宮三下下下
○○○☆☆硬	○ 新	△雅	毛支	地○	川○硬
土中土山中桜土山小芦大筆	芦南山五小山小佐小芦大望光大山山伊山伊ハ山筆部	石田駒石駒和大田大田渡石駒石駒支丸宮蒲丸田岩支	蒲草筆上渡	毛支	毛支
屋村屋口井屋ノ崎泉田澤▼田雲元十崎泉林々泉田澤月	澤元澤元地藤内ク	地中屋地屋仁坪中坪村辺地屋屋部	田前前田ノ佐	部藤	島邊拓
明朱那真妃森心太蘿隼蕙	蕙心花嵐太夏美木隼蕙深優復心優榮章菜大十ラ花	立け幸銳み遥大あか梨秀祐	桃天つ柚下明虹	瑞希結川	瑞浩柚明
2 準 8 準 6 初四準	8 8 6 5 8 / 8 3 1 4 5 5 1	準初準三 8 6 2 1 準二準	特準 2 特準 2 特準 7 特	準六 準七 準特 7 準	〃 8
下八 め級初段段六	△ [△] 新○○○☆硬	△下上中下中上段上上 初段三段上中上初段三	四五級 1 五 六八段	七段 八 待 段八	下下
新☆☆	新○○○	毛支	毛支	毛支	新東
宮中大中山谷黒筆小谷福小岩片田赤永須中一小柴大酒色烟溢西勝中木岩山長落菊徳川井物掘井中辻谷高大永山片小黒近脇滋鈴池落	蒲草筆支	蒲草筆支	蒲草筆支	蒲草筆支	蒲草筆支
川山部	崎柿山浦口▼野口岡野月山中々原川永野内怖井野谷澤濱山下月浦谷合池田手山藤澤開口川浦口須西原本山倉田藤田谷木上合▼部木村	梨咲里悠ミ瑞希初心に愛彩日	桃祐明祥い幹廉陵碧依瑞莉奈礼實心祐凜吳袖明芽優川沙ア瑞駿恭新日晶鈴な優大遼佐愛文理千咲彩遥心愛里	桃天つ柚下明虹	結陽
1 1 準特七	7 8 7 3	8 8 7 8 3 2 8	準準四準四準準四準準四準準六準準四六準	4 準準初準二 準準準準四初	2 1 特初準準準準
下上 4 2 段	御級級級段	△下中下中下中上二四段五段	△七八四段段八	△初段四段五	宮三下下下
○○○☆☆硬	○ 新	△雅	毛支	地○	川○硬
山板永松森野山三鹿り寶石土中長筆部	奈閨進筆木遠奈鹿田瀬仲閨遠古関松加新豊戎瀬古鹿飯木進奈田平橋秋加恩田	支安森小佐	蒲草筆上渡	毛支	毛支
中宮石橋澤田町本上島	田井屋鷲濱▼良根藤良野鳩戸野根藤賀根本賀海田谷戸内野岡薩藤良中垣元本藤田中▼部藤田島宗部	崎沿都山崎	田前前田ノ佐	藤	藤
よ聖	馨禮袖優優千	稚明祥い幹廉陵碧依瑞莉奈礼實心祐凜吳袖明芽優川沙ア瑞駿恭新日晶鈴な優大遼佐愛文理千咲彩遥心愛里	桃天つ柚下明虹	瑞希結川	瑞浩柚明
1 1 準特七	7 8 7 3	8 8 7 8 3 2 8	準準四準四準準四準準四準準六準準四六準	4 準準初準二 準準準準四初	2 1 特初準準準準
下下 初段五段六	六級六八段	△ [△] 僕△ [△] 硬△ [△] 〇	△ [△] 六級四段八	△ [△] 上二段下下下	杜の○
☆☆	☆○	毛支	毛潮	毛潮	○
山板永松森野山三鹿り寶石土中長筆部	奈閨進筆木遠奈鹿田瀬仲閨遠古関松加新豊戎瀬古鹿飯木進奈田平橋秋加恩田	支安森小佐	蒲草筆上渡	毛支	毛支
中宮石橋澤田町本上島	田井屋鷲濱▼良根藤良野鳩戸野根藤賀根本賀海田谷戸内野岡薩藤良中垣元本藤田中▼部藤田島宗部	崎沿都山崎	田前前田ノ佐	藤	藤
梨咲里悠ミ瑞希初心に愛彩日	-杏香 彩袖一創ヒ志口杏藻銀鱗楓谷眞蘋口亞屈亜昌悠翔希亜優榮杏志萌舞	葉杏達莉	按一瑛万玲	葉杏達莉	按一瑛万玲
4 準特	8 7 5 2 3 1 初二 2	8 準準準七特 8 4 5 7 8 〃 4 準準準七特 8 4 5 7 8 8 6 5 4 3 3 特二 2 準準五	7 準四 8 3 5 特 6	8	特 8
級初待	△下中下中中下 段段下	△八三四段待△有級級級△下	△中上下 中上上 1 1 下中 上下下中下下下中段三段中上下	△二段六段四六八段△八	杜の○
○☆○硬	○ ○	毛象	毛象○○○○硬	毛象○○○○硬	○
山板永松森野山三鹿り寶石土中長筆部	奈閨進筆木遠奈鹿田瀬仲閨遠古関松加新豊戎瀬古鹿飯木進奈田平橋秋加恩田	支安森小佐	蒲草筆上渡	毛支	毛支
中宮石橋澤田町本上島	田井屋鷲濱▼良根藤良野鳩戸野根藤賀根本賀海田谷戸内野岡薩藤良中垣元本藤田中▼部藤田島宗部	崎沿都山崎	田前前田ノ佐	藤	藤
梨咲里悠ミ瑞希初心に愛彩日	-杏香 彩袖一創ヒ志口杏藻銀鱗楓谷眞蘋口亞屈亜昌悠翔希亜優榮杏志萌舞	葉杏達莉	按一瑛万玲	葉杏達莉	按一瑛万玲
4 4 8 4 2 / 6 / 4 準準三準四 8	準準三準四 8	準準三準四 8	準準三準四 8	準準三準四 8	準準三準四 8
下下下下上 上	下下三段四段中 二段段五段六段八六段七	△ [△] 級初△下中上 初二四段五	△五段五七段	七八	待七八八
○新○○	☆☆	毛支	毛支	毛支	有級新
東佐野本上山佐山成小佐川近清内木出田遠原小新小宮田	筆支石尙南筆渡高石鳴尙原南南中福渡大山野高大棚渡生井飯イ大木筆支	支安森小佐	蒲草筆上渡	毛虹	毛虹
條山上田口縣藤輪田島山久藤水田出倉口澤鍋藤田野田林田中▼部上田保	邊井上原田田口保保島岡邊野本崎輪邊形形口田藤草野▼部	崎沿都山崎	島上田久出野	田	田
夏陽永涼泉通明愛は優大優興咲莉み克湧咲美春麻春莉怡藍	希侑	稚明祥い幹廉陵碧依瑞莉奈礼實心祐凜吳袖明芽優川沙ア瑞駿恭新日晶鈴な優大遼佐愛文理千咲彩遥心愛里	桃祐明桃	瑞希結川	瑞浩柚明
5 2 準	8 3 8 初	8 7 / 6 6 5 3 6 4 4 / 1 〃	1 特特 2 準二△準三△準五準準準特	8 3 1 8 準準五四	3 8 初準初準
中段六	八好級級級段	△下上 中上上上下下中 下	中 1 2 中二段 四段	五段七 2 △五八待	6
野新○新☆	☆	☆☆	☆☆	○☆	○
富鈴白佐支吉宇前松	筆吉宇大字平金前大高井成濱河清中片松半金清笠林金田手石松藤田伊清古筆支	天武内天川野川	支小村成川新小筆	熊	熊
井木井生生部岡田本原木口	河田野本光原場取口相本水山岡本沢水神轄光本塚野本原井藤草野▼部明倉田山倉合代合	島上田久出野	島上田久出野	部	部
清かあ結美	蓉原川向怡里玲寛真愛紗心美明梨ゆ和彩碧遼優万太芹あ絢那夏楓萌樹愛純	五煌紗唯千唯愛菜沙	彩永は保み麻	彩	彩
準準特	〃 〃 8 6 2	〃 〃 8 〃 7 6 6 8 6 4 4 / 1 〃	1 特特 2 準二△準三△準五準準準特	8 3 1 8 準準五四	3 8 初準初準
八四	八待	△ [△] 李	△級級級級△下 上	△下中上中下中上 中	横 5 8 3 2
○	○	毛支	毛支	毛支	○
早渡金本江	筆支大井小大林松三守筆大井小大神小今関元土佐松林三元阿渡藤森議服佐吉尾中守小小栗伊田園葵竹藤林今服松荒竹▼筆支	高鈴平	高鈴平	高鈴	高鈴
川辺子多野▼部谷藤泉谷楓崎井屋▼谷藤泉谷崎倉津理吉師藤崎楓井吉部辺重田部藤田形田屋倉野田賀中山本池原津部崎卷田 I	藤田形田屋倉野田賀中山本池原津部崎卷田 I	一	支井橋木野	野	野
華亞さ玲澤	咲友敬沙夏珠煌貴咲友敬沙希カ佳希レ芽志珠夏煌合海杏望花華楓大愛理知貴希田佑鼓希玄明玲陸碧陽真匠昌	部	部	部	部
8 4 3 準 4 4 初準 2	〃 8 5 4 4 2	準 4 2 五 準 7	準 4 2 五 準 7	特 4 準準三 1	特 4 準準三 1
中下下三下上段二段	下上下上四段中段六段四段段八待	△ [△] 龍級	△五七八	二初段段下	二初段六段段七
○	○	毛文	毛文○○☆☆硬	○○	☆☆
市金松駒小井鉢木野口松藤井尾村尾内村脇子藤ヶ口	枝藤内川岡合▼部塚川品口▼塚川崎品内塚山野櫓口口野木松川保木川島崎川品藤木口	瀬	瀬	瀬	瀬
瀬	瀬	瀬	瀬	瀬	瀬

7	4 2 準準	5 準二 準 6 5 // 3 四 // 五 六 七 準五 準七 // 準準	3 準 3	5 4 4 2 1 初 // 準 2 5 4 2 7 6 2 準四 三 七	準特 準五 // 8
上	下 上三四	下初段五級級段 段段段四段七段	八三	豪級三級△中上下中下段	二段下上段上上下初段段
○	○☆☆○	☆○○☆☆	毛心〇□〇硬〇	☆○○☆	毛華☆○☆☆☆硬新新〇
興上	輿吉秋柳有齊本掘木小齊稻緑堀高秋塩松秋鹿中浅川西支筆支藤塩清瀬富荻川藤田六内岡永加三阿加支筆支大田今三澤井笨深井尾枝	部井崎川	井崎本水岡原崎嶠中川山田山田藤浦部藤	部井口井尾枝	田駕澤
水西	水西田山原山藤間井野室藤葉川井鳥山谷尾山野田川北野▼部井崎川	井崎本水岡原崎嶠中川山田山田藤浦部藤	部井口井尾枝	田駕澤	千未ま
終	終柚奎桜陽里ひ愛美透莉陸葉蒼隼永悟梨結華奈芽未舞し貫連理章瑞	理咲悠溝華智大琥珀貴礼寿も由百琴田	遼杏柑寧禮		
8	特二 準準	8 // 5 4 4 2 3 7 3 3 2 1 二 準特準 6 // 5 // 準 8 3 準四 準七	1 2 3 準 // 準準 7 3 2 1 4	8 7 // 7 6 8 7 6 5 4 8	
級	段五七	下 中下上中下中上上段五 2 初級 級	初級級初段五段八	下六七八級級級級段	下 上中中上中上上
○	○☆☆○	○○○○	和毛支	☆○○○○硬	○○○○
齋	清平輿平筆齋川清中仁福仁有井橋高右平奥多高森小関山菊高岩藤三平奥高吉	中宮中宮池高早ん牧吉齊有牧支	玉浅泉上牧篠寒杉複推渡牧		
藤	藤野井田井▼藤武野代坂永坂上本野 井田田橋島川優室地野澤田輪井田橋井▼	井澤下澤下口田川支野田藤山野▼田川星西野宮河山本名邊野	田川星西野宮河山本名邊野		
実	実利裕佐	利裕佐実優利ま美影優紗隼心蓮京珠幸朱駿駿ま理咲優大咲瞬佐睦胡	舞心悠四優茉実部杏桜愛ひ莉	千み河真杏沙江結疏凜元	こ
〃	準特	5 1 準五 準 // 準特 準準 6 2 1 二三 4 2 特準二 準 5 4 1 準二 準四 // 準六 準準四五 // // 七 準準 // 七 // 準特	八待	八待	八待
八待	△若五	△若初三下上下段上 2 初段四上下上初段三	五段級三四段段	八七段	八待
毛	松△硬	因毛葉△☆硬	△	□	毛竹
安	黒小筆	知栗利莉近長中長筆支小筆羽井平	小須田西神中塙柳塙高山安大小塙塙堀西小小塙上福皆福小	神小清耕大塙田尾筆支	△部
陪	田笠△部彩	△久本理彩藤島山島山▼部池池澤川昂池井江林中祐谷島川沢川浦部里池川部祐山林川野島川山島鰐谷林水	里川中美△		
日	優原	子泰美子千莉沙麻	志桃玲奏友志泰彩ひ奈大芽知那真奈糸奈縁桃た鶴痴恵寿糸奈糸奈葉	未久烈太有優馨心	
七	特	7 6 5 8 準 // 8 // 7 8 4 準三 準準六	5 // 2 7 6 5 6 3 7 6 5 3 2 2 特特準準二三 // 準 6 4 1 準準 // 準六 準		
段	待中△	△級級級五△上	△級級級六△下下上 2 初段二六段五	△級級級六△中下中上中上中下 1 2 初二段段	△級級級六△中中二四五段
その他	二毛	△新毛昌〇☆☆硬	△新毛昌〇☆☆硬	△新毛昌〇☆☆硬	△新毛昌〇☆☆硬
奥	西三筆	須林岡佐筆小田清須林岡塙原塙平佐田塙筆支小大星小筆田小岩三黒新田星大白谷村三横松藤青伊恩岩池高安岩崎青三池			
口	澤	森田蒼部野▼森畑水田蒼部川部森森川形野畑川▼部野久顎立▼代野間谷瀬堀代顎久土口松谷野田原本木藤田間崎田橋陪瀬野木沢田			
陽	慶	こな空か莉	こひ咲な空か芽花幹姫祐莉右桃	柚保成原京柚あ快仁大心成保陽陽貴大由と桜美悠菜ひ詠杏美姫由夢琴絢こ	
8	7 6 // 6 5 // 4 4 3 2 1 特	8 7 6 5 5 4 // 3 1 準準準準	8 6 5 4 3 1 // 準二 // 準 2 1 準二 // 準四 // 五 8 7 // 6 // 5 準準五		
上上中	上中	中上中中上 1 小下上上下中上	上中初二五小	下下上下中上 初段	四小級級二段三 四段 段中級級級級初五段
○	○	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
市	木宮田西五須太小服小池安	安山友永三谷山自大飯前寺五原荒河広島松原柿矢五箇安関六	高柳飯高谷園園山寺大一陳永川白河田五佐濱佐細		
川	津山村尾十山田栗部林谷岡	部澤重井輪あ田坂平島田澤崎井崎瀬原田原山崎作十原岡咲	橋澤島橋響部部口澤津田田石村部十藤田藤野		
志	小恭航世嵐陽結縁来晃宣優	花雪や麗空かの絢吳慎理葉優愛優朱理暉瑞大の嵐あ優桜	運凜沙瑞喜心友真連陽晰聖彩里純井嵐璃文夏		
8	7 3 特 // 準 // 準 2 準 // 初準三	8 7 4 2 準 // 初準三	8 5 4 準三 準準三	3 特準三四準 // 五準準	8 // 7 // 7 // 5 // 2 // 1 初 8
級	級級級 1 2 段	二小級級級初 段二段小	級級級初二段五小級 1 初段五	段六八中△下中小下上中下上小上	中上 中段小下
宮	市木田大少	小池安四安山永大前友白飯五河原虎広大原関安六	高柳飯漬細園園大西学硬成奥久一原古関石宮二山鈴石成北矢園大矢高三荒		
川	津山村栗部谷岡	部澤井輪あ田坂平島田澤崎井崎瀬原田原山崎作十原岡咲	田井保崎本詩丸山澤木沢田村作部平島橋		
恭	志小恭航世嵐陽結縁来	花雪や麗空かの絢吳慎理葉優愛優朱理暉瑞大の嵐あ優桜	田謙田か瑞織エ拓広心さ影姫あ仁季凜理芽		
注意 1.	バーコード出品券と作品の段級位の不一致にご注意下さい。				
2.	バーコード出品券には必ず〇印と段級位等を、作品には段級位、名前を書いて下さい。				
3.	バーコード出品券の種別（臨規や仮規等）の〇印の誤りに、ご注意下さい。				
※上記の誤りがあった場合、正しい登録名列の各段級位の最後列にお名前が入っています。					

注意1. バーコード出品券と作品の段級位の不一致にご注意下さい。

2. バーコード出品券には必ず〇印と段級位等を、作品には段級位、名前を書いて下さい。

3. バーコード出品券の種別（臨規や仮規等）の○印の誤りに、ご注意下さい。

*上記の誤りがあった場合、正しい登録名列の各段級位の最後列にお名前が入っています。

支部別の発表です。個人出品は「その他」として巻末にあります。

第58回

書道展

特別企画 俊英選抜五人展

特別コーナー 第50回全国学生書道展



会期：2019.6.13(木)～6.23(日)

午前10時～午後6時 休館日6.18(火) 入場は午後5時30分まで

会場：国立新美術館 2階 C, D 展示室

〒106-8558 東京都港区六本木7-22-2

TEL. 03-6812-9921

主催：書象会

後援：読売新聞社

公益社団法人 全日本書道連盟

会期中、ギャラリートーク・全国学生展・講評会・支部長講習会・実技講習会を予定しています。多くの皆様のご参加をお待ちしています。詳しくは、P21を参照下さい。

◆春季昇段級試験作品締切迫る
作品締切日は五月二十一日(火)です。期日厳守の上、努力作品を提出して下さい。

▲書展予告▽ ☆第44回泰山門書道展

会期 五月二十五日(土)～二十六日(日)
会場 塩尻市民交流センター「えんぱーく」
星 T en・ten 2019 in 横浜赤レンガ倉庫
両サイドの書

会期 六月三日(日)～九日(日) 11時～18時
(三日は13時～18時)

会場 横浜赤レンガ倉庫一号館二階
TEL 045-211-1515

出品者 現代書の最先端を走る漢字・仮名・前衛の書作家46人
(一人4メートルの壁面)

本会関係 杉山 晓雲

◆第36回読売書法展関係運営日程

◇添削会(持参作品は一人五点以内)

五月十九日(日) 武藏野市民文化会館

六月二十三日(日) 国立新美術館

◆書象登録・変更申請用紙について
本会副理事長虎井暁鐘先生(享年74歳)が、病氣療養中のところ四月十五日
(用)ご逝去なされました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

◇最終選考会
七月七日(日) 武藏野スイングホール 午前十時～

◆登録・変更申請用紙について
申請用紙がお手元にない時は、事務所へお申し込み下さい。

本会副理事長虎井暁鐘先生(享年74歳)が、病氣療養中のところ四月十五日
(用)ご逝去なされました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

発行人
代表
上條節夫象

郵便番号180-0001 東京都武藏野市吉祥寺北町四-13-16
振替口座〇〇一九〇一七一五五六九一
振替名義(有)書
印刷所株式会社リンクス象

氏名